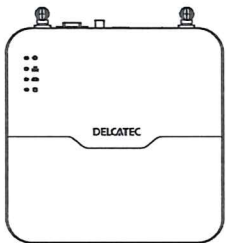


ワイヤレス対応ネット
ワークカメラ 1 台セット
CNW3SZ11(CNW3R421)

設定ガイド (レコーダー用)



はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

もくじ

はじめに	2
本製品の概要	4
使用上のお願い	5
使用上のご注意	5
設置のご注意	5
管理画面について	7
マウスの使い方	9
キーボード入力の方法	10
設定	11
初期設定	12
ホーム画面	17
メインメニュー	18
ポップアップメニュー	19
コンテキストメニュー	20
録画映像を再生する	21
再生画面の表示方法	21
再生画面について	22
タイムライン表示	24
タグ付けした映像を再生する	24
イベントとして登録された映像を再生する	25
ファイル管理画面	26
録画画質を設定する	28
録画スケジュールを設定する	30
microSD カードにデータを保存する	33
録画を開始する	33
アラームの設定をする	37
動体検知の設定	37
タンパリング検知の設定をする	40
ビデオロスアラームの設定をする	43
映像を拡大して見る (デジタルズーム)	46

ライブ映像画面でズーム表示する	46
再生画面でズーム表示する	47
設定メニューについて	49
カメラ選択	50
カメラを追加する	50
カメラ選択	54
エンコード	59
画面表示	61
画像	62
プライバシーマスク	67
PTZ	68
ネットワーク情報	71
基本	71
アドバンスド	74
Wi-Fi AP	77
システム	79
基本	79
画面表示	80
時刻	82
休日	84
ユーザー管理	85
セキュリティ	87
バックアップ	90
録画ステータス	90
画像	91
録画データをバックアップする	92
データをバックアップする	95
ストレージ	96
録画ステータス	96
ハードディスク	98
容量設定	99
アドバンスド	101
アラーム	102
動体検知	102
タンパリング	105
人体検知	108

・本書は、CNW3SZ11 のレコーダー用設定ガイドです。付属のカメラまたは別売のカメラを設定するときは、弊社 Web サイトより CNW3CBF1 または CNW3CDF1 の設定ガイドをご確認ください。

CNW3CBF1
URL : <https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2698>

CNW3CDF1
URL : <https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2695>

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

・この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

ビデオロス検出	109	共通	152
入力/出力	112	ログインパスワードを変更する ...	152
システム警告	113	Web 管理画面	159
ブザー	115	使用上のご注意	161
ドアベルコール	115	設置上のご注意	162
メンテナンス	116	このマニュアルについて	163
システム情報	116	動作環境	164
ネットワーク情報	118	各部の名称とはたらき	165
ログ	121	パソコンの IP アドレスの確認方法	166
バックアップ	122	Windows 10 の場合	166
リストア	124	サポートサービスについて	167
自動機能	124		
アップグレード	125		
クラウドアップグレード	125		
HDD	126		
メンテナンスログ	128		
手動	129		
マニュアル録画	129		
手動アラーム	130		
ブザー	130		
電源オフ	131		
電源オフ	131		
Web 管理画面について	133		
ホーム画面	134		
ツールメニュー	136		
再生画面	137		
動画選択パネル	139		
録画データの PC への保存	140		
設定画面	142		
クライアント	145		
システム—セキュリティ—HTTPS ...	146		
システム—セキュリティ—Telnet	146		
カメラ選択—カメラ選択	147		
カメラ選択—アドバンスド	148		
カメラ選択—画面表示設定—画面表示内容	149		
メンテナンス—メンテナンス—メンテナンス	150		

その他 151

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

本製品の概要

本製品は、ワイヤレス対応ネットワークレコーダーです。本製品と付属または別売の弊社製ネットワークカメラ（CNW3C シリーズ）を接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●ワイヤレス機能

ネットワークレコーダーにカメラを 4 台まで無線 LAN で接続が可能です。

●USB ポート

USB ポートを搭載し、USB メモリーを挿すことで映像の書き出しができます。

●カメラ設定

接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●DDNS サービス

ダイナミック DNS サービス「SkyLinkDDNS」に対応し、IP アドレスが変更されても同一カメラの映像を見ることが可能です。

●ハードディスク内蔵

ハードディスクを内蔵しており、録画映像などを保存します。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

- 本書は、本製品に付属のカメラを元に説明しております。
- 本製品のネットワークレコーダーに登録する別売のカメラによって、使用できる機能や表示画面が異なります。

使用上のお願い

使用上のご注意

- ・ 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・ 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- ・ カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- ・ 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の周囲温度が急激に変化した場合や 0℃以下になった場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- ・ カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 本製品に付属のカメラは、クラウド録画サービスの専用アプリ「antenna-eye」には非対応です。詳しくは、弊社 Web サイトの「D サポ！」をご確認ください。
<https://qa.dxantenna.co.jp/?page=1>
- ・ 本製品に付属のカメラを設定するときは、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNW3C.pdf>

設置のご注意

- ・ 本製品に登録するカメラをセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- ・ 本製品に登録するカメラを設置するときは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- ・ 本製品の取扱方法や、設置方法については、付属の取扱説明書をご確認ください。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

準備

管理画面について

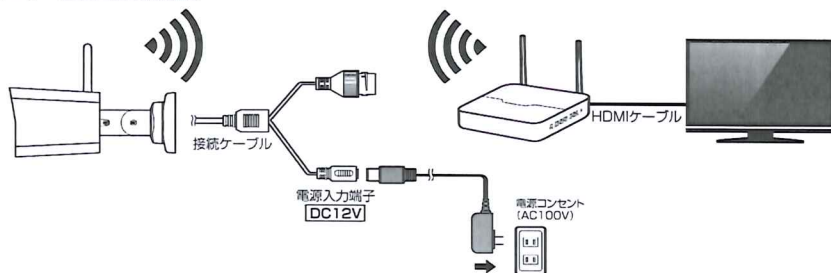
●カメラの設定は、管理画面で設定してください。本製品の管理画面を表示する方法は以下の2通りあります。

- ・本製品に直接モニターを接続する方法（モニター管理画面）
- ・パソコン上のウェブブラウザからカメラを操作する方法（カメラ用 Web 管理画面）

カメラ本体の設定方法については、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。

<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNW3C.pdf>

モニター管理画面の接続例



ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

初期設定ユーザー名 : admin

初期設定パスワード : 123456

重要 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。

ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

パスワードの変更方法は⇒152ページ「管理画面にアクセスするパスワードを変更したい」を参照してください。

●間違ったユーザー名・パスワードで5回連続ログインに失敗すると、その後正しいユーザー名・パスワードを入力しても、ログインが一時的に行えなくなります。その場合は、約5分間待ってから再度ログインしてください。

はじめに

準備

設定

その他

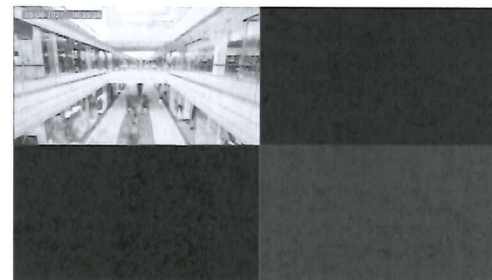
はじめに

準備

設定

その他

ホーム画面が表示されます。



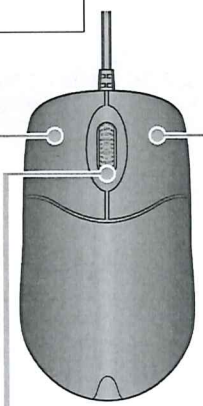
「右クリック」－「メニュー」を選択すると管理画面を表示します。

（解除パターンを登録している場合は、「メニュー」選択後、解除パターンを入力します）

マウスの使い方

左ボタン	
クリック	・メニュー画面を表示する ・項目の選択または確定
ダブルクリック	・ライブビューでフルスクリーン表示にする ・フルスクリーン表示から分割表示に戻す
ドラッグ	・動体検知範囲などの設定 ・分割表示時、表示画面の入れ換え

右ボタン	
クリック	・コンテキストメニューの表示 ・ズームの終了 ・設定画面を閉じる



ホイール	
回転	・カメラ画面の切り替え ・メニューのスクロールまたは、プログレスバーの拡大／縮小
長押し	初期設定解像度 (1024×768/60Hz) に戻す

はじめに
準備
設定
その他

キーボード入力の方法

入力欄をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。

大文字／小文字を切り替えます。

記号入力キーボードに切り替えます。

カーソルの前の文字を削除します。

入力した文字を確認し、キーボードを閉じます。

本製品に USB キーボードを接続しても、ご利用になれません。

はじめに
準備
設定
その他

設定

初期設定

- 各設定画面等においては、設定後に「保存」をクリックしなければ設定が反映されません。設定を完了する際は、必ず最後に「保存」をクリックしてください。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

初期設定

本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。

- 初期設定の内容は、後からでも変更できます。

重要 電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。

- 1 言語を選択し、「確認」をクリックします。

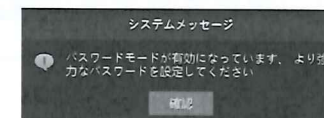


- 2 入力欄をクリックして初期設定のパスワードを入力します。

初期設定のパスワード：123456



ログインすると、新しいパスワードに変更するよう促すメッセージが表示されます。「確認」をクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。



3 新しいパスワードを設定します。

新しいパスワードは英字・数字・記号をすべて使用した 9 ～ 20 文字で設定してください。

※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &

①「古いパスワード」入力欄をクリックして、現在のパスワードを入力します。

②「パスワード」入力欄をクリックして、新しいパスワードを入力します。

※ 9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。

③確認のため、「パスワード(確認)」欄に新しく設定したパスワードを再度入力します。

④【確認】をクリックします。

※ パスワードの復旧設定を行う場合は、連絡先メールアドレスを入力してください。後で行う場合は、「Eメール」のチェックをはずしてください。

重要 ● 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

● 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。

4 アンロックパターンの設定をします。

本機に接続したマウスでクリック&ドラッグしながら、○を結ぶお好きなパターンを設定します。

※ 確認のため同じパターンを2回入力する必要があります。

※ 設定しない場合は、「スキップ」を選択してください。

パターンが設定されると、ウィザード画面が表示されます。

5 【次へ】をクリックします。

次回も電源起動時にウィザードを表示する場合は、「スタートアップ時にウィザード開始」にチェックを入れます。

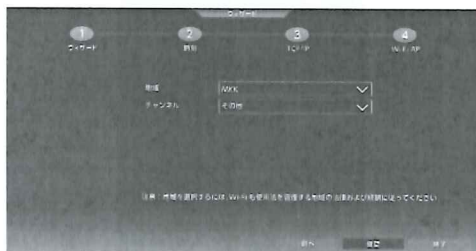
システム時刻は、NTP サーバーによる自動更新(同期)を設定することも可能です。
初期設定完了後にメニューから [設定] - [システム] - [時刻] 画面で設定できます。
詳しい設定方法は 82 ページをご参照ください。

5 タイムゾーンと時間を設定して、【次へ】をクリックします。

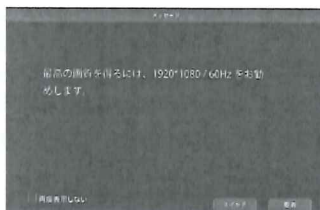
6 本機のネットワークを設定します。

IP アドレスなどを変更したい場合は設定します。変更の必要のない場合は、そのまま【次へ】をクリックします。

- 7 WiFi のアクセスポイントを設定して、「確認」をクリックします。
「チャンネル」を変更することによって、電波干渉による通信速度の低下などを改善する場合があります。
- 重要** ●「地域」は変更しないでください。



ウィザード終了の確認画面が表示されるので [はい] をクリックすると、最高の画質に調整するメッセージ画面が表示されます。
[スイッチ] をクリックすると、画質が自動調整されます。

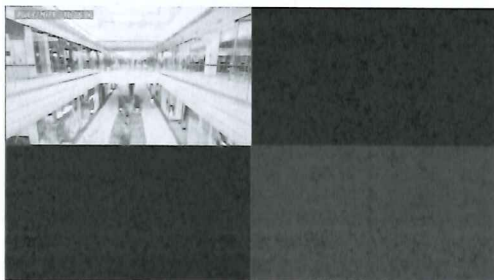


自動調整後、確認メッセージが表示されます。設定を有効にするには [はい] をクリックします。



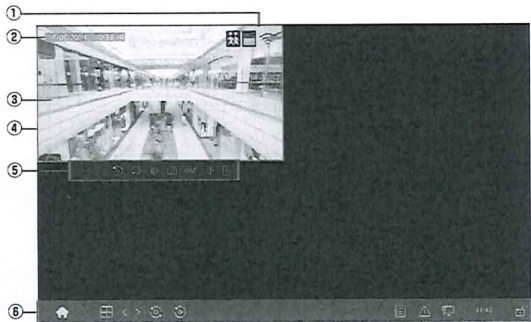
初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

- 本製品に付属のカメラは、既にネットワークレコーダー登録済ですので、特別な設定を行わなくても映像が表示され、録画も常時行われるようになります。別売のカメラを新しく登録するときは、付属の取扱説明書をご確認ください。
- カメラ映像が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。
⇒カメラ映像が表示されない場合は、154 ページをご参照ください。



ホーム画面

ホーム画面には接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。
(下図は画面表示が4分割表示に設定されている場合です。)



番号	項目	内容
①	状態アイコン	カメラの状態をアイコンで示します。
		カメラの音声出力が有効です。カメラの内蔵マイクに入力された音声は、モニターのスピーカーに出力されています。
		録画中です。
		WiFi 接続中です。
		動体を検知しています。
		タンパリングアラーム（カメラ妨害検知機能）が発生中です。
②	現在日時	現在の日付と時刻を表示します。
③	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。
④	アクティブカメラ	映像を左クリックすると、アクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。
⑤	ポップアップメニュー	選択しているカメラに対するメニューです。 ⇒ 19 ページ「ポップアップメニュー」
⑥	メインメニュー	マウスカーソルを画面下に移動すると、表示されます。 ⇒ 18 ページ「メインメニュー」

はじめに

準備

設定

その他

メインメニュー

ホーム画面でマウスカーソルを一番下へ移動すると、メインメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面を表示します。表示にはログインする必要があります。
②	画面分割数	1 画面のみ表示します。
		4 分割表示します。
③	前画面／次画面	1 画面表示のときに前または次の画面に移動します。 (増設用カメラを接続していないときは、利用できません。)
④	シーケンス表示	シーケンス表示のオン／オフを切り替えます。 シーケンス表示をオンにすると、設定した間隔で自動的に画面表示が切り替えられます。 画面レイアウト、画面数、時間間隔は、[メニュー] または右クリック [メニュー] - [システム] - [画面表示] で設定することができます。 ⇒ 80 ページ「画面表示」
		シーケンス表示オンの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オフになります。
		シーケンス表示オフの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オンになります。
⑤	再生	録画した映像を再生します。 ⇒ 21 ページ「録画映像を再生する」
⑥	カメラ情報	カメラの情報ウィンドウが表示されます。
⑦	アラームステータス	カメラのアラーム状態とネットワークレコーダーの状態を表示します。
⑧	ネットワーク	アイコンの上にマウスカーソルを置くと、NIC 情報と IP アドレスを表示します。 クリックすると、ネットワーク設定の管理画面を表示します。
⑨	時刻	アイコンの上にカーソルを置くと、現在の日付を表示します。 クリックすると、時刻設定の管理画面が表示されます。
⑩	ロック	メインメニューを自動的に隠します。 マウスカーソルを画面の一番下に移動すると表示します。
		メインメニューが常に表示されます。

はじめに

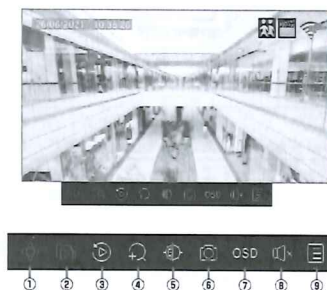
準備

設定

その他

ポップアップメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像をクリックすると、クリックしたカメラ映像がアクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	PTZ	PTZ コントロール画面を表示し、カメラをコントロールすることができます。 (⇒ 68 ページ) ※別売の PTZ カメラを増設すると利用できます。
②	ローカル録画 * スケジュール録画で録画中はローカル録画できません。	録画されていません。 クリックすると、ハードディスクに録画を開始します。 録画中です。 クリックすると、録画を停止します。
③	インスタントプレイバック	クリックすると、最新の録画映像を簡易的に再生します。さかのぼる時間は設定することができます (初期設定: 5 分)。
④	デジタルズーム	表示中の映像をマウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。
⑤	画像設定	画像設定の画面が表示され、撮影モード、画面の輝度、彩度、コントラストを設定できます。
⑥	スナップショット	クリックするとスナップショットを保存します。
⑦	OSD	クリックすると、画面表示の設定画面を表示します。
⑧	音量設定	マウスカーソルを合わせると、カメラの音量を調整できます。 クリックすると、ミュートのオン/オフを切り替えます。 🔊x ミュート中 🔊 ミュート解除中
⑨	カメラ選択	マウスカーソルを合わせると、再生しているカメラ映像のビットレートを表示します。 クリックすると、[IP カメラ変更] 画面を表示し、カメラの設定ができます。

🔊 ライブビューでは、同時に複数のカメラの音声を有効にはできません。

はじめに

準備

設定

その他

コンテキストメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面を表示します。
②	共通メニュー	カメラ選択・ネット設定・バックアップの各設定画面を表示します。
③	シングルウィンドウ	選択したライブビューのカメラ映像を 1 画面に表示します。
④	マルチウィンドウ	ライブビューのカメラ映像を分割画面で表示します。
⑤	コリドーモード	ライブビューのカメラ映像を 3 分割または 4 分割で縦長に表示します。
⑥	再生	録画映像の再生をすることができます。 ⇒ 21 ページ「録画映像を再生する」
⑦	照度設定	カメラの設定画面を表示します。 ⇒ 62 ページ「画像」
⑧	出力モード	接続しているすべてのカメラ映像の出力モードを設定できます。
⑨	手動	録画・アラーム・ブザーを手動で開始/停止できます。

はじめに

準備

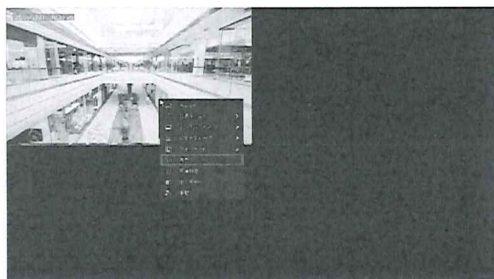
設定

その他

録画映像を再生する

再生画面の表示方法

- 1 ライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「再生」をクリックします。



再生画面が表示されます。



はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

再生画面について



番号	項目	内容										
①	カメラ選択	再生するカメラを選択します。										
②	日付	選択再生する日付を選択します。録画データがある日付には、 10 11 を表示します										
③	再生モード	<table><tr><td>ノーマル</td><td>通常の再生画面です。</td></tr><tr><td>スマート</td><td>スマート検索結果をもとに再生します * 1</td></tr><tr><td>コリドーモード</td><td>縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)</td></tr></table> *1：スマート検知された場合、再生速度が通常速度で再生されます。 検知されない場合は、16 倍の速度で再生され、時間の節約になります。	ノーマル	通常の再生画面です。	スマート	スマート検索結果をもとに再生します * 1	コリドーモード	縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)				
ノーマル	通常の再生画面です。											
スマート	スマート検索結果をもとに再生します * 1											
コリドーモード	縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)											
④	ツールボタン	再生画面上で左クリックすると、ツールバーが表示されます。 <table><tr><td></td><td>スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。</td></tr><tr><td></td><td>タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」</td></tr><tr><td></td><td>デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」</td></tr><tr><td></td><td>音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。</td></tr><tr><td></td><td>保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。</td></tr></table>		スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。		タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」		デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」		音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。		保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。
	スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。											
	タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」											
	デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」											
	音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。											
	保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。											
⑤	外部ファイル	USB 端子に接続した USB メモリなどからファイルを読み出すことができます。										

イベントとして登録された映像を再生する

イベントとして登録された映像を検索して再生することができます。

- 1 再生画面で再生画面左下の【ビデオ検索】をクリックします。
- 2 タグ付けされた映像を検索します。



- ① 検索するイベントの種類を選択します。

【動体検知／ビデオロス】

- ② 検索するカメラを選択します（複数選択可）。
- ③ 検索する範囲を指定します。
- ④ 【検索】 ボタンをクリックします。

- 3 検索条件に当てはまるタグの一覧が表示されますので、再生するタグ付けされた映像の再生ボタンをクリックします。



タグ付けされた映像の開始時間と終了時間を設定します。

はじめに

準備

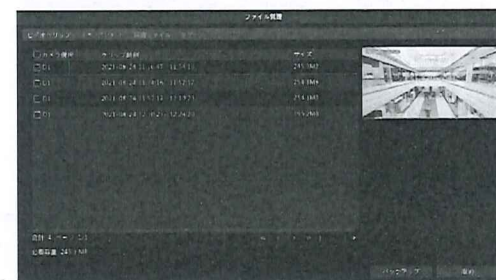
設定

その他

ファイル管理画面



【ファイル管理】 ボタンを押すと【ファイル管理画面】が表示され、クリップした映像などを USB ストレージにバックアップすることができます。



項目	内容
ビデオクリップ	クリッピングで切り取った映像を保存します。 クリッピング機能で切り取った映像が一覧表示されます。 クリッピングの方法は 23 ページの「クリッピング開始・クリッピング終了」をご参照ください。
再生画像	再生中に撮影されたスナップショットを表示します。
保護ファイル	保護した映像を保存します。
タグ	カスタムタグやデフォルトタグの編集をします。

はじめに

準備

設定

その他

設定

録画設定をする

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

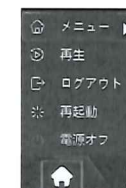
設定

その他

録画画質を設定する

録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

- 1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックします。



映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

- 2 [カメラ選択] をクリックします。



- 3 必要に応じて以下のメニューに入り、設定を行います。

[カメラ選択] - [エンコード]

映像の解像度や圧縮方法の設定を行います。

⇒詳しい設定内容は 59 ページ「エンコード」



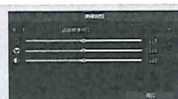
[カメラ選択] - [画像]

映像の画質や露出、ホワイトバランスを設定します。

⇒詳しい設定内容は 68 ページ「画像」



画像設定は、「ライブビュー映像」-「画像設定」をクリックしたときのポップアップメニューからも簡易的に設定することができます。



はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

録画スケジュールを設定する

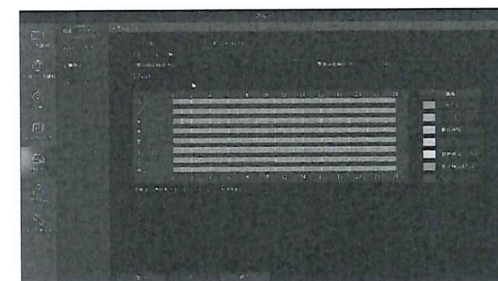
初期設定では録画は 24 時間 365 日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックします。

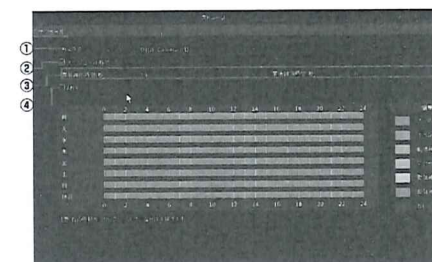
映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

2 [ストレージ] - [録画ステータス] をクリックします。

スケジュール画面が表示されます。



3 スケジュール設定するカメラを選択し、録画設定をします。



① スケジュール設定するカメラを [カメラ選択] から選択します。

注意 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。

設定中にカメラを変更する場合は、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。

② [スケジュール有効] にチェックを入れます。

③ [事前 / 事後録画時間 (秒)] を設定します。

事前録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。

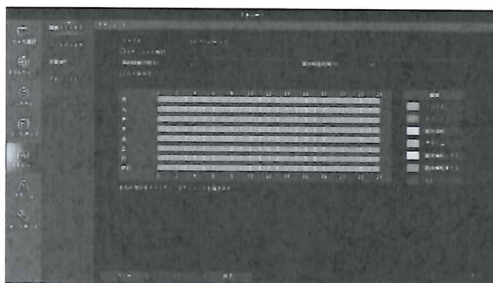
事後録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。

④ 「ANR」を有効にする場合は、チェックを入れます (⇒ 33 ページ)。

カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダーに映像データを補間します (カメラ内に microSD カードを挿入してください)。使用するカメラでも ANR の設定を ON にしてください。

注意 通常の録画と ANR により補間された録画のつなぎ目には数秒の映像の途切れや重複が出現することがあります。カメラとレコーダーの時刻がずれるとこれらの時間は長くなります。

4 スケジュール設定を行います。

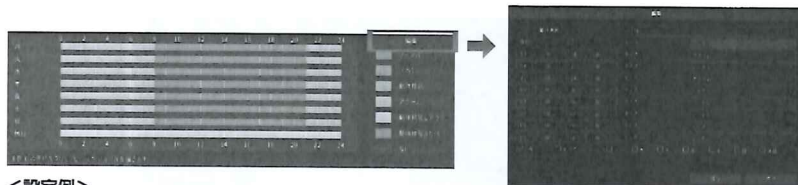


①スケジュールに割り当てたい録画の種類をクリックします。

項目	内容
☐ ノーマル	通常の録画を行います。
☐ イベント	指定した時間にイベント（動体検知時、アラーム発生時、ビデオロス検知時）が起こったときに録画を行います。 ⇒ 37 ページ「アラームの設定をする」（動体検知・タンパリング・ビデオロス）
☐ 動体検知	指定した時間に動体検知をしたときに録画を行います。動体検知機能が「有効」になっている必要があります。 ⇒ 102 ページ「動体検知」
☐ アラーム	指定した時間にアラーム発生したときに録画を行います。
☐ 動体検知とアラーム	指定した時間に動体検知とアラームが同時発生したときに録画を行います。
☐ 動体検知またはアラーム	動体検知またはアラームのどちらかが発生したときに録画を行います。
☐ なし	録画を行いません。

②スケジュール表をクリックして色を塗り、スケジュールを設定します。

「編集」をクリックすると、他の曜日に設定をコピーすることができます。



<設定例>

月～日	0:00 ～ 8:00 と 21:00 ～ 24:00 はアラーム発生時のみ録画。 その他の時間は通常録画。
休日	0:00 ～ 24:00 は動体検知とアラーム発生時のみ録画。 ⇒ 休日の設定方法は、84 ページ「休日」をご参照ください。

5 「適用」をクリックして設定を保存します。

注意 「適用」を押す前に別のカメラを選択すると、設定がリセットされますのでご注意ください。

6 別のカメラも同様に設定します。

「コピー」をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

microSD カードにデータを保存する

- カメラの電源をオフにするときは、必ず microSD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、microSD カードのデータが破損する可能性があります。

カメラの管理画面で録画設定をする

1 カメラに microSD カードをセットします。

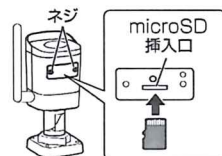
セット方法はカメラによって異なります。

- 重要** カメラは microSD カードのホットプラグに対応しておりません。
microSD カードの抜き差しは、カメラの電源をオフにした状態で行ってください。

<本製品に付属のカメラを使用するとき>

本体の右図位置にあるネジ2本を緩めてカバーをはずし、microSD カードを右図の向きで挿入します。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード (クラス 10 以上)	最大 128GB

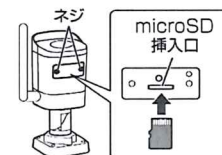


<別売のカメラを使用するとき>

・CNW3CBF1

本体の右図位置にあるネジ2本を緩めてカバーをはずし、microSD カードを右図の向きで挿入します。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード (クラス 10 以上)	最大 128GB



・CNW3CDF1

①ドームハウジングを外す。

付属のトルクスレンチで右図位置の2本のネジを緩めます。

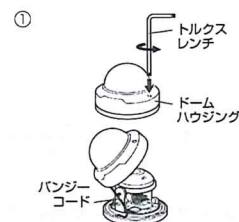
※ネジはドームハウジングから外れません。

※ドームハウジングと本体は落下防止のため、バンジーコードでつながっています。

②microSD カードを挿入する。

microSD カードを右図の向きで挿入します。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード (クラス 10 以上)	最大 128GB



・CNW3CPZ1

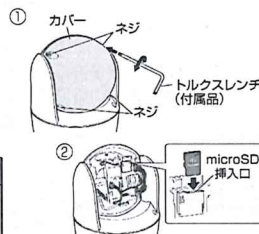
①ネジ4本を外す。

本体背面部の下図位置にあるネジ4本を、付属のトルクスレンチ(付属品)で緩めてカバーをはずします。

②microSD カードを挿入する。

microSD カードを右図の向きで挿入します。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード (クラス 10 以上)	最大 256GB



はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

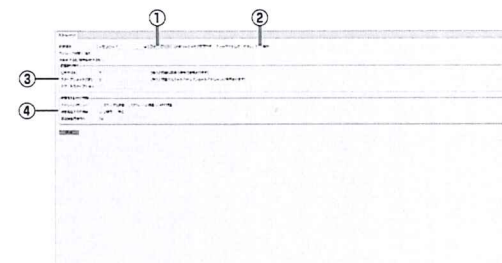
その他

2 管理画面から【設定】 - 【ストレージ】をクリックします。

カメラの管理画面については、カメラの設定ガイドの「管理画面について」をご確認ください。

設定ガイド (カメラ用) : <https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNW3C.pdf>

3 ストレージ画面が表示されますので、以下を設定します。



①必要に応じてフォーマットを実行します。

- 初めて本製品で microSD カードを使用する場合は、フォーマットを実行してください。
- フォーマットを実行すると、microSD カード内に保存されていたデータはすべて消去されます。
- 【フォーマット】をクリックすると、フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了すると、システムが再起動します。

②【有効】にチェックを入れます。

[有効]/[無効] を切り替えると、システムが再起動します。

③映像に割り当てる容量を設定します。

映像について

- ・microSD カードに録画されたデータ (ts ファイル) は、パソコンなどで再生することはできません。

通常は表示される最大値のままご利用ください。スケジュールで撮影されたスナップショットは microSD カードに保存されます。ファイルの書き出しを実施することで、jpg ファイルとして PC に保存できます。

④ 設定を行います。

項目	内容						
ストレージ ポリシー	録画方式として「マニュアル録画」、「スケジュール録画」、「ANR 録画」のいずれかを選択します。						
	<table><tr><td>マニュアル録画</td><td>常時映像を録画します。</td></tr><tr><td>スケジュール録画</td><td>スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 詳しくはカメラの設定ガイドをご確認ください ⇒「スケジュール編集ウィンドウ」</td></tr><tr><td>ANR 録画</td><td>カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダに映像データを保管します。</td></tr></table>	マニュアル録画	常時映像を録画します。	スケジュール録画	スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 詳しくはカメラの設定ガイドをご確認ください ⇒「スケジュール編集ウィンドウ」	ANR 録画	カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダに映像データを保管します。
	マニュアル録画	常時映像を録画します。					
	スケジュール録画	スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 詳しくはカメラの設定ガイドをご確認ください ⇒「スケジュール編集ウィンドウ」					
ANR 録画	カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダに映像データを保管します。						
録画容量不足の場合	上書き 容量が満杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。 停止 容量が満杯になると、録画を停止します。						
事後録画時間（秒）	アラームによる録画の場合、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さ。						

4 [保存] をクリックして設定を保存します。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

設定

- ・アラームを設定する
- ・デジタルズームを使う

アラームの設定をする

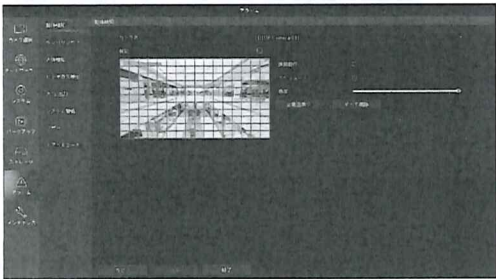
映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーや E メールで通知することができます。

項目	内容	ページ数
動体検知	動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	37 ページ
タンパリング	タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。	40 ページ
ビデオロス検出	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	43 ページ

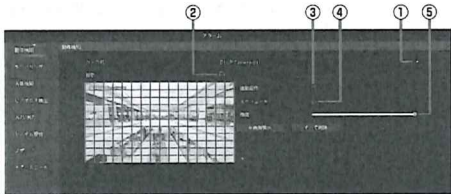
動体検知の設定

動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを発生させることができます。初期設定では動体検知は有効になっています。

- 1
- ホーム画面でメニューアイコン  をクリックする、またはライブビュー画面で右クリックしてメニューをクリックし、[アラーム] を選択します。
- 2
- [アラーム] — [動体検知] をクリックします。
動体検知画面が表示されます。

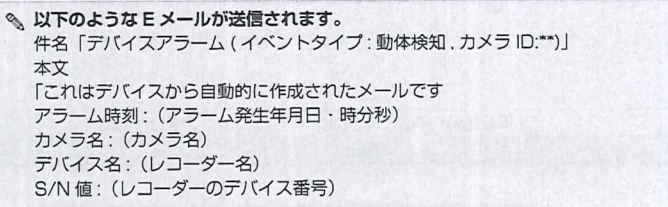
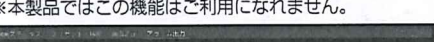


- 3
- 動体検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



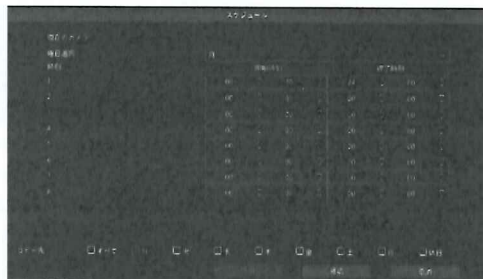
- ①
- 動体検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ②
- [有効] にチェックを入れます。
- ③
- [連動動作] 欄にある  をクリックして、動体検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、動体検知時にブザーが鳴ります。
E メール送信	チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 73 ページ「E メール」をご参照ください。 
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、動体検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ設定	連動動作の内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 動体検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。  <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。  <画面表示> 動体検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。  <アラーム出力> 動体検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。 

④ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑤ スケジュール欄にある■をクリックして、動体検知を有効にするスケジュールを設定します。



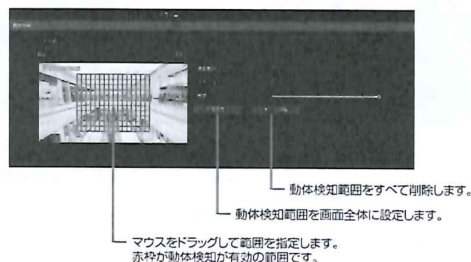
項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	動体検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

⑥ スライダーを動かして感度を設定します。

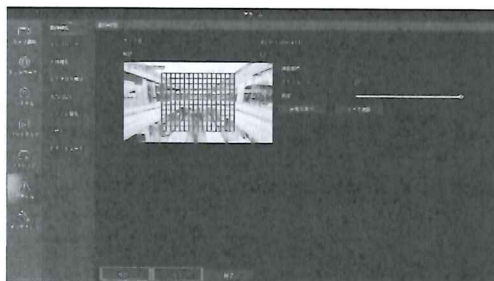
感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。



4 動体検知を有効にする範囲を設定します。



5 [適用] をクリックして設定を保存します。



6 他のカメラも同様に設定します。

[コピー] をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

タンバリング検知の設定をする

タンバリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。

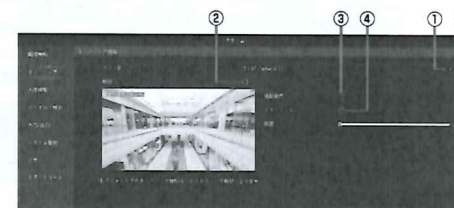
1 メニューアイコンをクリックして [アラーム] を選択します。

2 [アラーム] — [タンバリング] をクリックします。

タンバリング検知画面が表示されます。



3 タンバリング検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



① タンバリング検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。

② [有効] にチェックを入れます。

③ [連動動作] 欄にある■をクリックして、タンバリング検知をしたときに連動させる動作を設定します。

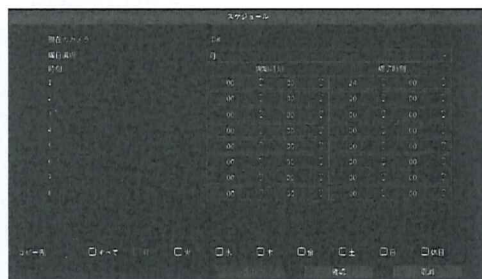


項目	内容
ブザー	チェックを入れると、タンバリング検知時にブザーが鳴ります。

項目	内容
Eメール送信	チェックを入れると、タンパリング検知時にEメールを送信します。 Eメールの設定は73ページ「Eメール」をご参照ください。  以下のようなEメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: タンパリング検知, カメラID: ***)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、タンパリング検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ	連動動作内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <画面表示> タンパリング検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を表示します。  <アラーム出力> タンパリング検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。 

④ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑤ [スケジュール] 欄のをクリックして、タンパリング検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	タンパリング検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

⑥ スライダーを動かして感度を設定します。

感度の数値が高いほど (スライダーが右にあるほど)、検知しやすくなります。

4 [適用] をクリックして設定を保存します。

5 他のカメラも同様に設定します。

[コピー] をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

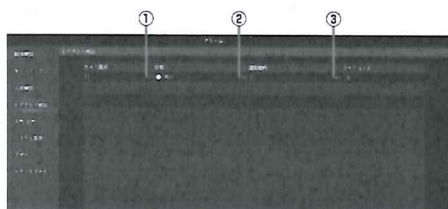
ビデオロスアラームの設定をする

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。
初期設定では有効になっています。

- 1 メニューアイコンをクリックして「アラーム」を選択します。
- 2 「アラーム」－「ビデオロス検出」をクリックします。
ビデオロス検出画面が表示されます。



- 3 連動動作とスケジュール設定を行います。



- ① カメラごとにビデオロス検出機能の有効／無効を切り替えます。
- ② 「連動動作」欄にある■をクリックして、ビデオロス検知をしたときに連動させる動作を設定します。



はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

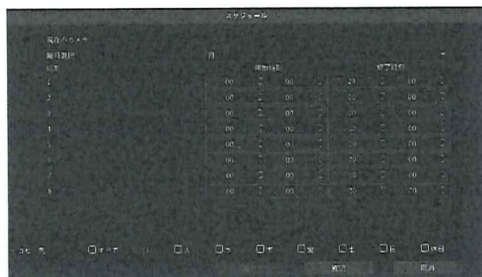
設定

その他

項目	内容
ブザー	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーが鳴ります。
Eメール送信	チェックを入れると、ビデオロス検知時にEメールを送信します。 Eメールの設定は73ページ「Eメール」をご参照ください。 ☞ 以下のようなEメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: ビデオロス, カメラID: **)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、ビデオロス検知時にポップアップウィンドウを表示します。 連動動作内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> ビデオロス検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在ではご利用いただくことはできません。 <画面表示> ビデオロス検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 <アラーム出力> ビデオロス検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。
連動カメラ設定	

③ 設定後、「適用」をクリックして設定を完了します。

④ 「スケジュール」欄にある■をクリックして、ビデオロス検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	ビデオロス検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

⑤ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

はじめに

準備

設定

その他

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

ライブ映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見ることができます。

ライブ映像画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像をクリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



- 2 画面表示が「1 画面」に切り替わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。



ズーム表示を解除するとき

右クリックで拡大解除、さらに右クリックでデジタルズームが終了します。

はじめに

準備

設定

その他

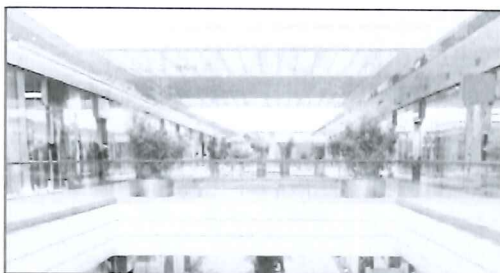
再生画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像を左クリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

- 2 画面表示が「1画面」に切り替わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。



🔧 デジタルズーム機能は通常の再生時のみ使用できます。インスタントプレイバック時は使用できません。

ズーム表示を解除するとき

右クリックで拡大解除、さらに右クリックでデジタルズームが終了します。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

設定

設定リファレンス編

設定メニューについて

メニュー項目	内容	ページ
カメラ選択	映像の設定やカメラの操作を行います。	50 ページ
ネットワーク情報	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	71 ページ
システム	本製品のシステム設定を行います。	79 ページ
バックアップ	録画した映像を USB ストレージデバイスにバックアップします。	90 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	96 ページ
アラーム	アラームを検知したときの設定をします	102 ページ
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元/初期化、本システムのアップグレードなどを行います。	116 ページ

はじめに

準備

設定

その他

カメラ選択

カメラを追加する

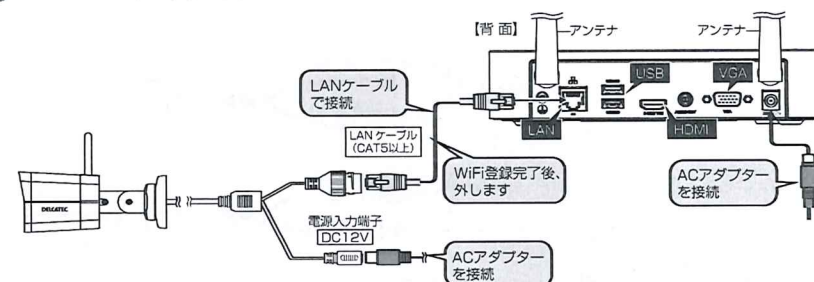
■別売カメラをペアリング（登録）する

本製品のレコーダーに弊社別売カメラを追加で 3 台までペアリング（登録）することができます（4 台以上登録している場合は、カメラを削除してください）。

無線 LAN（WiFi）接続で使用する場合

カメラとネットワークレコーダーの接続

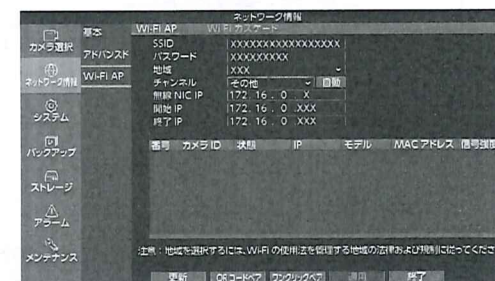
- 1 ネットワークレコーダーの電源が入っていないことを確認する
- 2 ペアリング（登録）するカメラとネットワークレコーダーを付属の LAN ケーブルでつなぐ
- 3 ネットワークレコーダーの電源を入れる（付属の AC アダプターを接続する）
- 4 カメラの AC アダプターをつないでから、3 分以内に「ワンクリックペアリング」をクリックする（下記の「手順 1」を参照）
- 5 ペアリング（登録）完了後、付属の LAN ケーブルを外す。



Wi-Fi でペアリング（登録）するとき

- 1 [メニュー] > [ネットワーク情報] > [Wi-Fi AP] > [Wi-Fi AP] を選択し、[ワンクリックペア] をクリックします。

🔑 IP アドレスが無線 LAN 用 IP アドレス「172.16.0.xxx」になっていることを確認してください。



[ワンクリックペア]をクリックする。

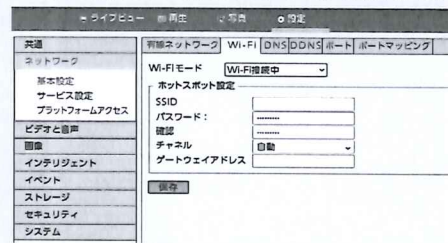
2 ペアリング（登録）が完了すると、「追加されました」と表示されます。



「追加されました」が表示されます。

3 「終了」をクリックします

- 注意**
- ペアリング（登録）ができないときは、カメラの LAN ケーブルおよび電源ケーブルを一度外してから、再度、LAN ケーブル、電源ケーブルの順に接続し、もう一度ペアリング（登録）してください。
 - 上記でも解決しない場合は、カメラ本体の設定を工場出荷設定に戻してください。



カメラ本体の設定方法については、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。

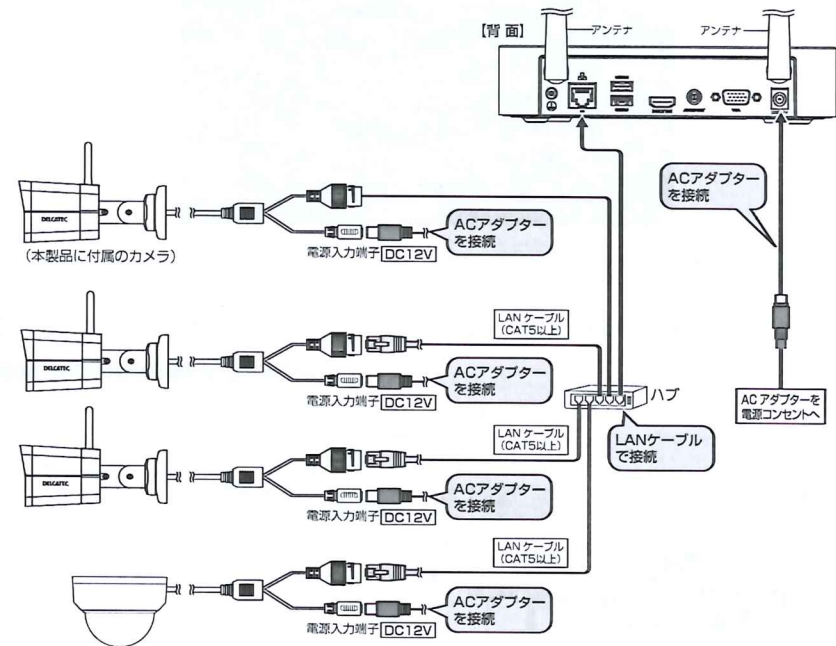
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNW3C.pdf>



有線 LAN 接続で使用する場合

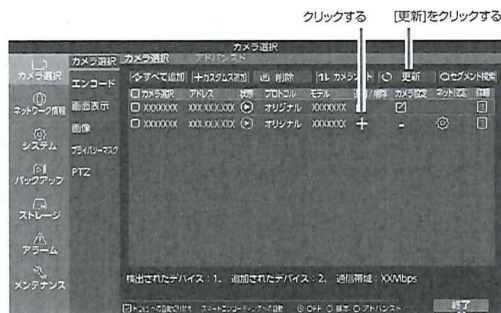
カメラとネットワークレコーダーの接続

- 1 カメラとネットワークレコーダーを LAN ケーブルでつなぐ
複数台接続する場合はハブを用意します。



有線 LAN でペアリング（登録）するとき

- 1 ライブビュー画面で右クリックし、[メニュー]>[カメラ選択]>[カメラ選択]>[カメラ選択]を選択します。
- 2 更新をクリックします。
- 3 「+」をクリックします。
- 4 ☒ をクリックします。



5の手順完了後、クリックする

- 5 下記の内容を設定し、「確認」をクリックします。

- ・モードを追加：IP アドレスに設定します。
- ・プロトコル：オリジナルに設定します。
- ・ポート：変更しません。
- ・ユーザー名：初期設定は「admin」
- ・パスワード：初期設定は「123456」

🔧 IP アドレスが有線 LAN 用 IP アドレス「192.168. x .xxx」になっていることを確認してください。



クリックする

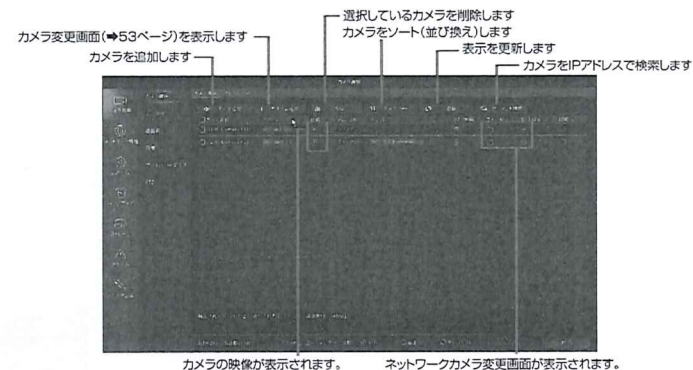
🔧 IP アドレスを有線 LAN 用 IP アドレス「192.168. x .xxx」にすると、再度、無線 LAN 接続するには、一度工場出荷設定ボタンを押してください（カメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください）。

カメラ選択

■カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。

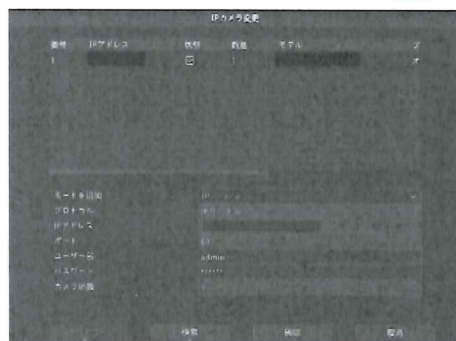
🔧 カメラ側の WebUI 上の管理画面で変更した設定はネットワークレコーダーには反映されません。



項目	内容
H.265 への自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。（初期値：有効）
スマートエンコーディングへの自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的に拡張エンコード設定を選択した設定値に設定します。[OFF（初期値）／基本／アドバンスド]

ネットワークカメラ変更画面

「カメラ選択」 - 「カメラ選択」で「カスタム追加」をクリックする、またはをクリックします。



ネットワーク上のカメラを検索します。

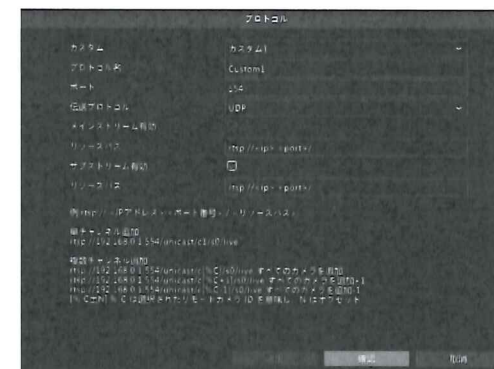
「プロトコル」に「カスタム」が選択されているときに
プロトコルの管理画面を開きます。

項目	内容						
追加モード	IP アドレス (初期値) IP アドレスを指定して接続します。						
	MyDDNS 外部クラウドサービスを利用して接続します。 クラウド側でのユーザー登録が必要となります。						
	ドメイン名 DDNS サービスを利用して接続します。 ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。						
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。 本設定項目は、他社製カメラ等を使用できるようにするための、将来拡張用の機能となります。 通常は変更せずにご利用ください。 [カスタム] を選択すると、以下のように表示され、カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。  プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定することができます。 <table border="1"> <tr> <td>ONVIF</td><td>ONVIF で接続します。</td></tr> <tr> <td>オリジナル (初期値)</td><td>通常は [オリジナル] のままで使用します。</td></tr> <tr> <td>カスタム</td><td>カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。 プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定 することができます。</td></tr> </table>	ONVIF	ONVIF で接続します。	オリジナル (初期値)	通常は [オリジナル] のままで使用します。	カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。 プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定 することができます。
ONVIF	ONVIF で接続します。						
オリジナル (初期値)	通常は [オリジナル] のままで使用します。						
カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。 プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定 することができます。						
IP アドレス	[追加モード] で [IP アドレス] を選択しているときに設定します。 「検索」をクリックして表示された内容から変更しないでください。						
ドメイン名	[追加モード] で [ドメイン名] を選択しているときに設定します。						
ポート	「検索」をクリックして表示された内容から変更しないでください。						
ユーザー名	カメラに登録しているユーザー名とパスワードを入力します。						
パスワード							
カメラ総数	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。通常は初期値「1」のままでご利用ください。						

カスタムプロトコル画面

本製品の付属または別売のネットワークカメラを利用する場合は、本画面での設定は利用できません。プロトコルはオリジナルのままご利用ください。
カスタムプロトコルの使用には、追加するネットワークカメラが標準の RTSP をサポートしている必要があります。

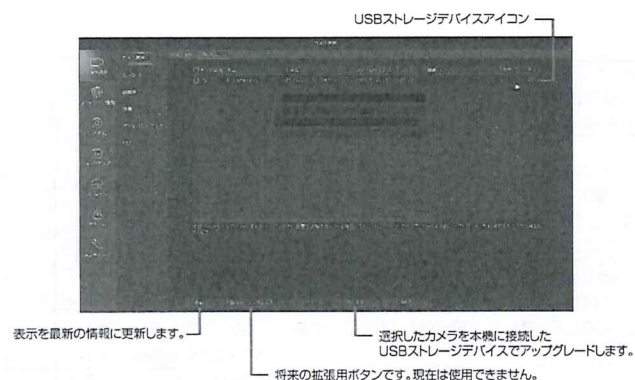
この方法で追加された IP デバイスは、本製品から設定できず、ライブビューと再生だけ行えます。



項目	内容
カスタム	設定するカスタムプリセットを選択します。
プロトコル名	カスタムプリセットの名称を設定します。
ポート	RTSP の設定をします。
伝送プロトコル	
メインストリーム有効	
リソースパス	
サブストリーム有効	
リソースパス	

■アドバンスド

接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。



項目	内容
USBストレージデバイスアイコン	クリックすると「カメラ更新」画面が表示されます。 ※USBストレージデバイスからファームウェアをアップグレードする際に使用します。 ※カメラとの通信プロトコルが「オリジナル」以外に設定されていると、選択できない場合があります。
デフォルトアイコン	選択したネットワークカメラを工場出荷時の設定に戻します。

アップグレード権限のないユーザー（ゲストユーザーの初期権限など）では、ファームウェアのアップグレードはできません。管理者などアップグレード権限を持つユーザーでログインした状態で実施してください。

はじめに

準備

設定

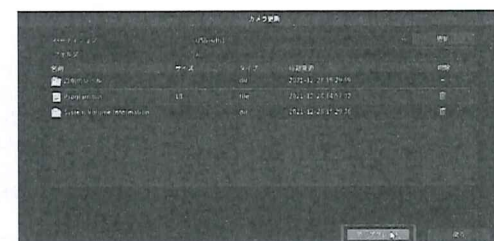
その他

ネットワークレコーダーからカメラのファームウェアをアップデートする方法

- 1 ファームウェアを保存したUSBストレージデバイスを本製品に接続します。
- 2 アップデートするカメラを選択し、「ディスク」ボタンをクリックすると「カメラ更新」画面が開きます。



- 3 弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアファイルを選択し、「アップグレード」ボタンをクリックするとアップデートを開始します。



USBストレージデバイスに下記の弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアファイルを保存しておいてください。
<https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?page=1&category=156>

はじめに

準備

設定

その他

エンコード

映像のエンコード設定を行います。



項目	内容								
カメラ名	設定するカメラを選択します。								
ストレージモード	録画に使用するストリームを選択します。 [メインストリーム/サブストリーム/メインおよびサブストリーム (初期値)]								
撮影モード	解像度とフレームレートを設定します。 この設定は、プライベートプロトコルで本製品に接続しているネットワークカメラのみ有効です。 <table border="1"> <tr> <td>1920*1080 @ 30 (初期値)</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>1920*1080@25</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps</td></tr> <tr> <td>1280*720@30</td><td>解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>1280*720@25</td><td>解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps</td></tr> </table>	1920*1080 @ 30 (初期値)	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps	1920*1080@25	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps	1280*720@30	解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps	1280*720@25	解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps
1920*1080 @ 30 (初期値)	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps								
1920*1080@25	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps								
1280*720@30	解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps								
1280*720@25	解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps								
ストリームタイプ	<table border="1"> <tr> <td>ノーマル</td><td>予約録画用のメインストリームです。</td></tr> <tr> <td>ネットワーク伝送</td><td>ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い(細い)場合などに選択できるよう、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。</td></tr> </table>	ノーマル	予約録画用のメインストリームです。	ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い(細い)場合などに選択できるよう、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。				
ノーマル	予約録画用のメインストリームです。								
ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い(細い)場合などに選択できるよう、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。								
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。 [H264 / H265 (初期値)]								
解像度	ビデオの解像度を選択します。 メインストリーム : 1920*1080(1080P) (初期値) / 1280*720(720P) サブストリーム : 1280*720(720P) (初期値) / 720*576(D1) / 704*288(2CIF) / 640*360 / 352*288 (CIF)								
ビットレートタイプ	<table border="1"> <tr> <td>CBR (初期値)</td><td>ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。</td></tr> <tr> <td>VBR</td><td>ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。</td></tr> </table>	CBR (初期値)	ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。	VBR	ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。				
CBR (初期値)	ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。								
VBR	ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。								

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

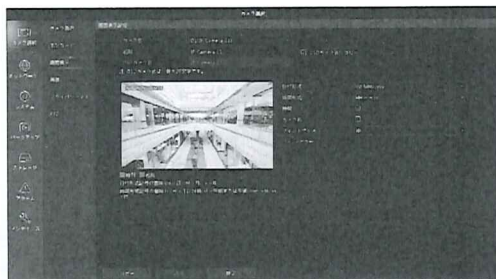
その他

項目	内容
ビットレート (Kbps)	1 秒あたりの転送ビット数値を選択します。[カスタム] を選択すると、任意の値に設定することができます。 [128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320 / 384 / 448 / 512 / 640 / 768 / 896 / 1024 / 1280 / 1536 / 1792 / 2048 / 3072 / 4096 / 5120 / 6144 / カスタム]
フレームレート (fps)	1 秒あたりのフレーム数を設定します。[撮影モード] の選択値によって設定できる最大フレームレートは異なります。 [1 ~ 30 (初期値: 撮影モードを @ 25 に設定しているとき 25、@ 30 に設定しているとき 30)]
画質	画質を 9 段階で設定します。この設定は VBR を選択している場合のみ有効です。 [レベル 1 ~ レベル 9 (初期値: レベル 5)]
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数です。 [5 ~ 250 (初期値: 50)]
平滑化	映像の変化が激しい場合に、ネットワークに流れる映像のデータ量が極端に上下しないように補正します。
音声ストリーム	オーディオストリームの有効/無効を設定します。 [初期値: 無効]
スマートエンコーディング	選択すると、より高い圧縮を行います。「OFF」 < 「基本モード」 < 「アドバンスドモード」の順で圧縮率が高くなりますが、動きの激しい場面などでブロックノイズなど乱れが目立つ場合もあります。本機能に対応しないカメラでは設定が行えません。 [OFF (初期値) / 基本モード / アドバンスドモード]

H.264 または H.265 では一定期間で I フレーム (イントラフレーム) として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、I フレームを受信すると復旧されます。そのため I フレーム間隔を空けると (大きくすると)、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなります。映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

画面表示

映像上に表示される文字の設定を行います。



項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
名前	カメラの名前を設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。 (「yyyy」は年、「MM」は月、「dd」は日の数値表示をしています。 「MMMM」は月、「dddd」は曜日の英語表示をしています。) [dd/MM/yyyy / MM/dd/yyyy / dd MMMM, yyyy / MMMM dd, yyyy / dddd, dd MMMM, yyyy / dddd, MMMM dd, yyyy / yyyy/MM/dd / yyyy, MMMM dd] / dddd.yy.MM dd
時間形式	時間の表示形式を設定します。 (「h」「H」は時間、「m」は分、「s」は秒、「tt」はAM・PMの表示をしています。) [HH:mm:ss (24 時間) (初期値) / hh:mm:ss tt (12 時間)]
時間	時間表示の有無を設定します。(初期値：有)
カメラ名	カメラ名表示の有無を設定します。(初期値：なし)
フォントサイズ	フォントのサイズを設定します。内部フォントの仕様上、大と特大で OSD 文字のサイズ差がほぼ変わらない場合があります。[特大/大/中 (初期値) / 小]
フォントの色	フォントの色を設定します。(初期値：白)

はじめに

準備

設定

その他

画像

映像の画像設定を行います。



設定をデフォルトに戻します

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
シーン	使用シーンに応じてあらかじめ設定されたプリセットを選択することができます。カメラによって設定できる項目が異なります。 [カスタム/屋内/一般/道路向き HLC]
スマート照度	カメラがナイトモード時のときの赤外線照射量を設定します。
画像補正	カメラ映像の画質を設定します。⇒次項「画像補正」
露出	カメラ映像の露出を設定します。⇒ 64 ページ「露出」
ホワイトバランス	カメラ映像のホワイトバランスを設定します。⇒ 66 ページ「ホワイトバランス」
アドバンスド	カメラ映像の詳細設定をします。⇒ 66 ページ「詳細設定」



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、本製品の設定を初期化 (124 ページ) しても工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。本ページでの設定も初期化する場合、「メニュー - カメラ選択 - カメラ選択 - アドバンスド」画面 (57 ページ) から「デフォルト」を実行してください。

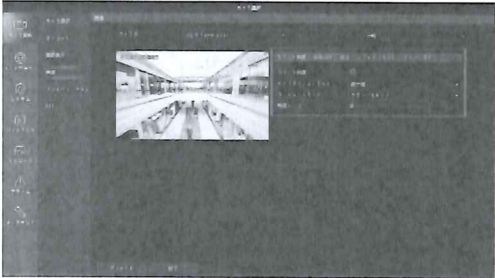
はじめに

準備

設定

その他

■スマート照度



スマート照度	カメラがナイトモード時に、赤外線の有効 / 無効の設定ができます。
イルミネーションモード	赤外線のみです。
コントロールモード	IR 照射モードを 3 モードから選択できます。 [グローバルモード（初期値） / 露出オーバー抑制 / 手動]
照度レベル	手動モードのときのみ変更可能です。 [0 ～ 1000（初期値：0）]

■画像補正

カメラ映像の画質を設定します。



輝度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像が明るくなります。
	輝度小   輝度大
彩度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、彩度が高くなります
	彩度小   彩度大

はじめに

準備

設定

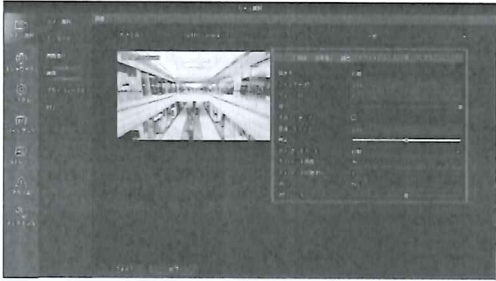
その他

コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。
	コントラスト小   コントラスト大
シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。
	シャープネス小   シャープネス大
ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。
	ノイズ削減   ノイズ削減大
画像回転	映像を回転表示します。 [ノーマル（初期値） / 180°]

※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。

■露出

カメラ映像の露出を設定します。

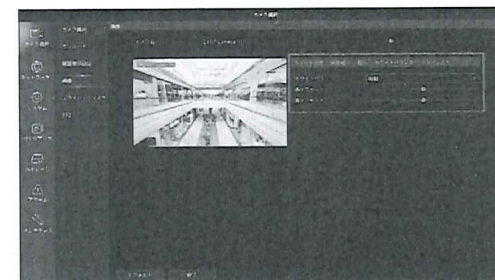


項目	内容
露出モード	露出モードを選択します。
	自動（初期値） 自動設定（屋外環境に適した調整を行います）
	カスタム 露出の内容を手動より細かく設定
	屋内 50Hz 50Hz の蛍光灯に対応
	屋内 60Hz 60Hz の蛍光灯に対応
	手動 パラメータを自分で設定
低モーションブラー	動きの大きな映像に対してブレを少なくする

項目	内容	
シャッター (秒)	シャッタースピードを設定します。動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが向いています。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2つのシャッタースピードを設定することができます。 [1/30 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/150 / 1/180 / 1/200 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 / 1/50000 / 1/100000 (初期値※)] ※「露出モード」を「カスタム」に設定したときの初期値	
ゲイン (dB)	カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2つのゲインを設定することができます。[0 ~ 100] (初期値: 0、カスタムモードのときは0と100)	
スローシャッター	チェックを入れると、暗い場所に設定するときに映像を明るくさせることができます。 [初期値: 無効]	
最遅シャッター	スピードの下限を設定します。「スローシャッター」にチェックを入れると、設定することができます。 [1/6 / 1/8 / 1/10 / 1/12 (初期値) / 1/15 / 1/20 / 1/25 / 1/30]	
補正	露出補正を設定します。逆光のときなどに映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないように調整できます。「露出モード」が「手動」のときは設定できません。[初期値: 0]	
デイ/ナイトモード	自動 (初期値)	周囲の照明条件に応じて、「ナイト」モードと「デイ」モードを自動的に切り替えます。
	デイ	周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。
	ナイト	周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。
デイ/ナイト感度	[デイ/ナイトモード] が「自動」に設定されている場合に、デイモードとナイトモードを切り替えるときのしきい値を設定します。撮影環境が暗くなると、カメラの「シャッター速度、CMOSのゲイン、レンズの絞り (現在のラインナップでは固定)」を調整して撮影された映像のデイ/ナイト感度ノイズを抑えますが、調整してもノイズを抑えきれなくなり、ノイズがしきい値を超えるとナイトモードに変わります。早くナイトモードに切り替えたいときは「高」に、映像のノイズが多くなってもデイモードを維持したい場合は「低」や「最低」に設定してください。 [最低/低/中 (初期値) / 高]	
デイ/ナイト切替	デイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。設定した値が小さすぎると、夕暮れや朝日のときに頻繁に切り替わることがあります。設置する環境・状況に合わせて、調整してください。 [3 ~ 120 (秒)] (初期値: 3)	
WDR	WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。[ON / OFF (初期値)]	
WDR レベル	映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないよう WDR レベルに調整できます。[初期値: 5]	

■ホワイトバランス

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。



ホワイトバランス	ホワイトバランスの補正モードを選択します。 [自動 (初期値)・微調整・屋外・ナトリウムランプ・保護]
赤オフセット	赤色のオフセット値を手動で調整します。[- 127 ~ 127]
青オフセット	青色のオフセット値を手動で調整します。[- 127 ~ 127]

■アドバンスド

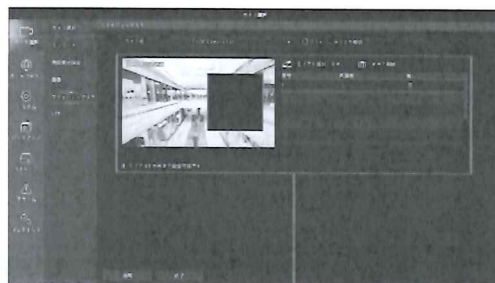
カメラ映像の詳細設定をします。



デフォグ	霧補正機能を使用するときは [ON] に設定します。[OFF (初期値) / ON]
デフォグレベル	[デフォグ] を [ON] に設定したときに霧補正レベルを設定します。[1 ~ 9 (初期値: 5)]

プライバシーマスク

映像の一部を覆いたいときに設定します。

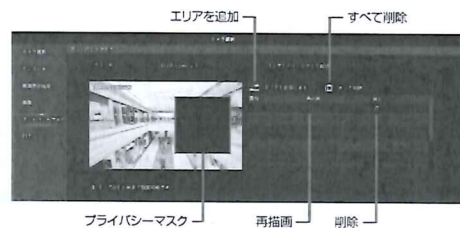


プライバシーマスク設定ウィンドウ

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
プライバシーマスク有効	チェックを入れると、プライバシーマスクが有効になります。

プライバシーマスク設定ウィンドウ

プライバシーマスクを最大4か所まで作成することができます。プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。



「追加」「削除」など変更を行った後は「適用」をクリックして設定を保存してください。Web 管理画面では、「すべて削除」ボタンをクリックした場合のみ自動的に「保存」も行われます。

はじめに

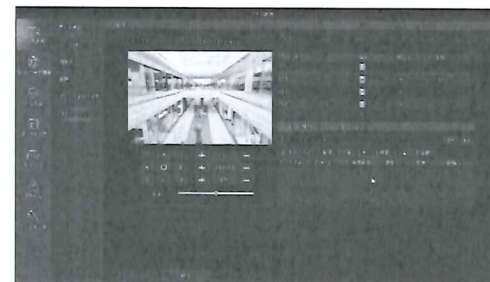
準備

設定

その他

PTZ

PTZ に対応しているカメラは、パン制御 (P)、チルト制御 (T)、ズーム制御 (Z) ができます。



PTZ カメラの操作

- 1 ライブビューのカメラ映像をクリックし、ポップアップメニューからPTZ制御アイコンをクリックします。



PTZ 制御パネルが表示されます。



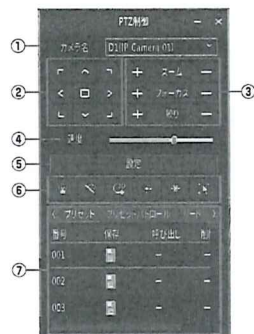
はじめに

準備

設定

その他

2 PTZ 制御パネルでカメラを制御します。



番号	項目	内容
①	カメラ名	選択制御するカメラを選択します。対応可能なカメラのみが表示されます。
②	回転	矢印の方向に、カメラの撮影方向を移動させることができます。(斜め方向は回転として機能します。)
③	レンズ操作	ズーム、フォーカスを設定します。ズームはマウスのホイールでも操作できます。
④	速度	カメラのパン、チルトの速度を調整できます。
⑤	設定	このボタンをクリックすると、PTZ 管理画面が表示されます。
⑥	カメラ操作	ショートカットボタン  をクリックすると、カメラ映像画面内のカーソルが示す方向に、カメラ映像を移動させることができます。(斜め方向は回転として機能します。)その他のボタンはご利用できません。
⑦	プリセット プリセットパトロール ガードポジション	プリセット、プリセットパトロール、ガードポジションの詳細については、PTZ の管理画面を参照してください。

※：使用するカメラによって、制御できる機能は異なります。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

■ PTZ 管理画面

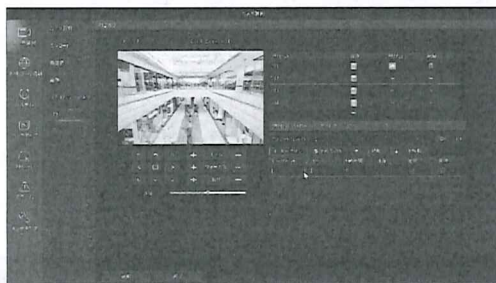
PTZ カメラを操作したり、パトロール機能などのプリセットを設定したりすることができます。

● プリセットの設定

プリセットパトロールおよびガードポジションで使用するプリセットを登録します。

PTZ カメラの向きなどを調整して、「保存」をクリックします。

をクリックすると PTZ カメラの調整した向きを確認することができます。



設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

はじめに

準備

設定

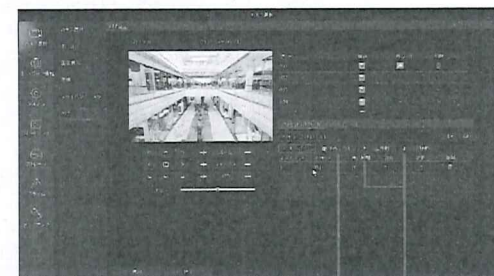
その他

● プリセットパトロール

プリセットパトロールを設定します。

① プリセットパトロールを選択します。

② [キーポイント追加] をクリックし、キーポイントに設定するプリセットを追加します。



すべてのキーポイントを削除します。 選択したキーポイントの順番を変更します。

項目	内容
	キーポイントの設定を変更することができます。
	キーポイントを削除することができます。
	パトロールを開始します。
	パトロールを停止します。

● ガードポジション

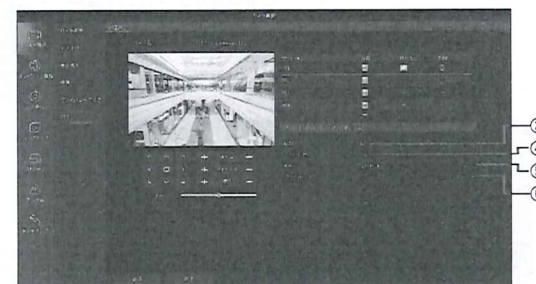
ガードポジションを設定します。PTZ カメラをあらかじめ設定した位置に自動的に移動させる機能です。

③ 有効にチェックマークを入れます。

④ アイドル (秒) を設定します。

⑤ 設定したい「モード」を選択します。

⑥ 「モード」でプリセットパトロールを選択したときは、「ルート」を設定します。



ネットワーク情報

基本

■ TCP/IP



項目	内容
NIC 選択	「NIC1」のみ選択できます。
DHCP 有効	チェックすると、自動的に IP アドレスを取得します。
IPv4 アドレス	
IPv4 サブネットマスク	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。
IPv4 デフォルトゲートウェイ	
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。
MTU (Bytes)	MTU = Maximum Transmission Unit : 576 ~ 1500 (初期値:1500) 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位:バイト) を設定します。 通常は変更する必要はありません。
優先 DNS サーバー	
代替 DNS サーバー	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。

はじめに

準備

設定

その他

■ P2P



項目	内容
P2P を有効	P2P を有効に設定します。(初期値:有効)
サーバーアドレス	利用できる P2P サーバーのアドレスです。
登録コード	サーバー側でデバイスを登録するのに必要となります。
デバイス状態	デバイスのネットワーク状態を表示します。
アカウントなしで追加できる	アプリ等からデバイスを追加する際に、QR コードをスキャンすることで、追加することができます。

■ DDNS

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



項目	内容
DDNS を有効	DDNS を有効に設定します。(初期値:無効)
DDNS タイプ	ダイナミック DDNS、No-IP、MyDDNS、SkylinkDDNS から選択できますが、本製品では SkylinkDDNS サービスをご利用ください。
サーバーアドレス	DDNS サービスタイプに基づいた、サーバーアドレスが自動で入力されます。
ポート	プロトコルの標準番号です。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

● SkylinkDDNS については、次のページをご参照ください (<https://www.clear-net.jp/>)。

SkylinkDDNS へ登録するときは、本製品のラベルに記載されたシリアルナンバーを確認して登録してください。

本製品のシリアルナンバー:

はじめに

準備

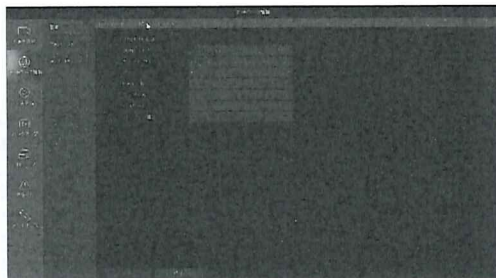
設定

その他

■ E メール

各アラーム設定内の連動動作設定で行います。

(アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、アラームを検知したときの設定で行います。)



項目	内容
サーバー認証を有効	サーバー認証が必要な場合にチェックを入れます。(初期値：無効)
ユーザー名	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
SMTP ポート	
TLS/SSL を有効	TLS/SSL を有効にした場合には、25 を使用してください。それ以外では 587/465 を使用してください。
送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
送信者アドレス	
受信者選択	
受信者名	受信者の情報を入力します。宛先は最大 6 件まで登録できます。
受信者アドレス	
スケジュール	アラームが発生したときに E メールを送信する時間帯を設定します。設定すると、設定した時間帯以外の時間にアラームが発生しても E メールを送信しなくなります。

- 「テスト」 ボタンをクリックすると、メールの送信テストを行えます。受信者アドレステストで、すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。

- 一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

はじめに

準備

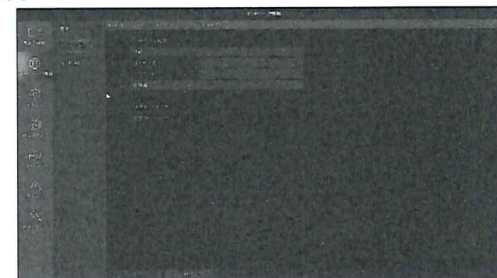
設定

その他

アドバンスド

■ PPPoE

PPPoE の設定をします。



はじめに

準備

設定

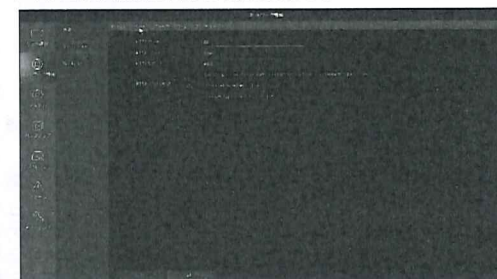
その他

項目	内容
PPPoE を有効	PPPoE を有効に設定します。(初期値：無効)
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
アドレス	PPPoE を有効に設定して、接続先のユーザー名、パスワードを入力し、「適用」をクリックすると、接続先の IP 情報が表示されます。
サブネットマスク	
ゲートウェイ	

■ ポート

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。

この設定はおもにポートマッピング設定と合わせて設定します。



項目	内容
HTTP ポート	ポート番号を設定します。
RTSP ポート	ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。
HTTPS ポート	21、23、2000、3702、60000

※ RTSP のライブ映像視聴は非対応

■ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



項目	内容				
ポートマッピングを有効	チェックすると、ポートマッピング機能が有効になります。 (初期値：有効)				
マッピングモード	<table border="1"> <tr> <td>UPnP (初期値)</td><td>ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品で UPnP を使用するには、接続先のルーターで UPnP を有効にする必要があります。UPnP がネットワークアドレス変換 (NAT) に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータは LAN の外部から本製品にアクセスできます。</td></tr> <tr> <td>手動</td><td>ルーターが UPnP をサポートしていない場合は [手動] を選択します。</td></tr> </table>	UPnP (初期値)	ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品で UPnP を使用するには、接続先のルーターで UPnP を有効にする必要があります。UPnP がネットワークアドレス変換 (NAT) に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータは LAN の外部から本製品にアクセスできます。	手動	ルーターが UPnP をサポートしていない場合は [手動] を選択します。
UPnP (初期値)	ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品で UPnP を使用するには、接続先のルーターで UPnP を有効にする必要があります。UPnP がネットワークアドレス変換 (NAT) に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータは LAN の外部から本製品にアクセスできます。				
手動	ルーターが UPnP をサポートしていない場合は [手動] を選択します。				
UPnP マッピング	ポートを手動でマッピングする場合は、[手動] を選択します。 ● [自動] を選択することをおすすめします。正しく設定されていないと、ポートが競合します。 [自動 (初期値)] / 手動]				
HTTP ポート	[マッピングモード] または [UPnP マッピング] を [手動] に設定しているときに、ポート番号を設定します。				
RTSP ポート	● 本製品の内部ポートと外部ポートがルーターのポートと一致する必要があります。				
HTTPS ポート	● 一部のルーターは、本製品とルーターに同じ内部ポートと外部ポートを設定する必要があります。				

● ポートマッピングが完了したら、Web ブラウザのアドレスバーに以下を入力すると、本製品の Web 管理画面にアクセスできます。

http:// (ルーターの WAN ポート IP アドレス) : (外部 HTTP ポート)

例) IP アドレス: 10.2.2.10

外部 HTTP ポート番号: 82 の場合は、

http://10.2.2.10:82

● この機能を使うためには、本製品が接続されているネットワーク上にあるルーターの設定も必要となります。インターネット側からのアクセスを受け入れる設定のため、セキュリティに充分配慮の上で設定を実施してください。

はじめに

準備

設定

その他

■マルチキャスト

本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。



項目	内容										
マルチキャストを有効	チェックを入れると、マルチキャスト機能が有効になります。 (初期値：有効)										
マルチキャスト IP	IP アドレスとポート番号を設定します。										
ポート	● マルチキャストアドレスは 224.0.0.0 から 239.255.255.255 までの範囲のクラス D アドレスです。 ● 以下の IP アドレスは特別な用途のために用いられます。LAN 上のみで使用されます。 <table border="1"> <tr> <td>224.0.0.0 ~ 224.0.0.255</td><td>LAN 上のみで使用されます。</td></tr> <tr> <td>224.0.0.1</td><td>全ホストグループのアドレス用。</td></tr> <tr> <td>224.0.0.2</td><td>サブネット上のすべてのルーター用。</td></tr> <tr> <td>224.0.0.5</td><td>すべての OSPF ルーター用。</td></tr> <tr> <td>224.0.0.13</td><td>すべての PIMv2 ルーター用。</td></tr> </table>	224.0.0.0 ~ 224.0.0.255	LAN 上のみで使用されます。	224.0.0.1	全ホストグループのアドレス用。	224.0.0.2	サブネット上のすべてのルーター用。	224.0.0.5	すべての OSPF ルーター用。	224.0.0.13	すべての PIMv2 ルーター用。
224.0.0.0 ~ 224.0.0.255	LAN 上のみで使用されます。										
224.0.0.1	全ホストグループのアドレス用。										
224.0.0.2	サブネット上のすべてのルーター用。										
224.0.0.5	すべての OSPF ルーター用。										
224.0.0.13	すべての PIMv2 ルーター用。										

映像ストリームの再生ソフトなどでの映像視聴はサポートしていません。マルチキャストで送信している映像を確認する場合は、Web 管理画面で「ライブビュープロトコル」を「マルチキャスト」に設定して、ご確認ください。

はじめに

準備

設定

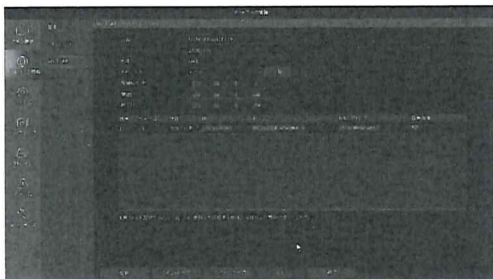
その他

Wi-Fi AP

■Wi-Fi AP

ネットワークレコーダーの無線 LAN の設定をすることができます。

重要 「地域」は MKK から変更しないでください。

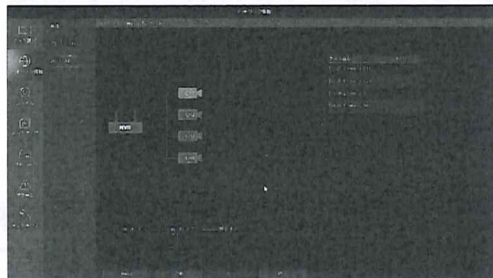


項目	内容
SSID	ネットワークレコーダーの SSID を設定します
パスワード	ネットワークレコーダーのパスワードを設定します。
地域	MKK から変更しないでください。
チャンネル	電波干渉による通信速度の低下などを改善する場合があります。 自動をクリックすると、最適なチャンネルに設定されます。
無線 NIC IP	無線ネットワークに接続するためのネットワークアダプタを設定します。
開始 IP	IP アドレスの範囲を設定します。
終了 IP	
更新	表示を更新します。
QR コードペア	本製品では使用できません。
ワンクリックペア	カメラを新しく追加するとき以下の手順で操作します。 ①本製品のネットワークレコーダーの LAN 端子と登録したいカメラの LAN 端子を LAN ケーブル (CAT 5 以上) で接続します。 ②登録したいカメラの電源を入れます。 ③ワンクリックペアのボタンをクリックします。 ④カメラが追加されます (カメラが追加されるまで、しばらくお待ちください)。

■Wi-Fi カスケード

本製品のカメラにはリピーター機能が搭載されており、カメラをリピーターとして設定すると、電波が届きにくくなったときでも、別売のカメラを使うことにより、安定した接続が可能になります。

重要 別売のカメラにはリピーター機能がないカメラもありますので、詳しくは、弊社 Web サイトの「D サポ！」をご確認ください。



はじめに

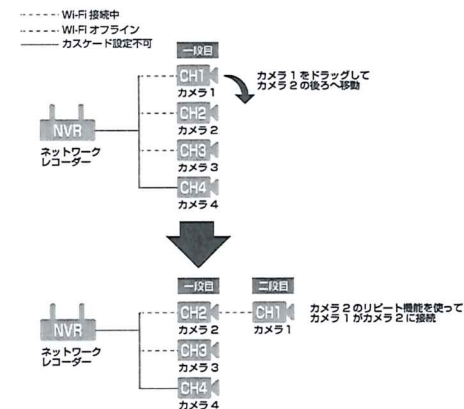
準備

設定

その他

Wi-Fi カスケード設定方法

カメラ 1 をカメラ 2 のリピーターに登録するとき



重要 カメラは 4 段以上をカスケードすることはできません。

はじめに

準備

設定

その他

システム

基本

システムの基本的な設定をします。



項目	内容
デバイス名	本製品のデバイス名が表示されます。
デバイス ID	本製品のデバイス ID が表示されます。
表示言語	管理画面の表示言語を以下の中から選択します。[English / 日本語]
オートログアウト時間 (分)	一定時間操作しなかったときに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。 [無効] に設定すると、自動的にログアウトしません。 [1 / 5 (初期値) / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 / 無効]
即時再生 (分)	ライブビュー上で簡易再生するときに、逆上の時間を設定します。[0 ~ 60 分 (初期値: 5)]
マウスポインタの速度	マウスポインタの速度を 4 段階で設定できます。スライダーを右に移動させるほど速くなります。[1 ~ 4 (初期値: 1)]
パスワード保護を有効にします	チェックを外すと、パスワードを入力せずに管理画面に入ることができるようになります。この項目は、管理者のみ変更できます。(初期値: 有効)
スタートアップ時ウィザード有効	チェックすると、電源オン時に毎回初期設定ウィザードを表示します。[ウィザード] をクリックすると、すぐに初期設定ウィザードが表示されます。

はじめに

準備

設定

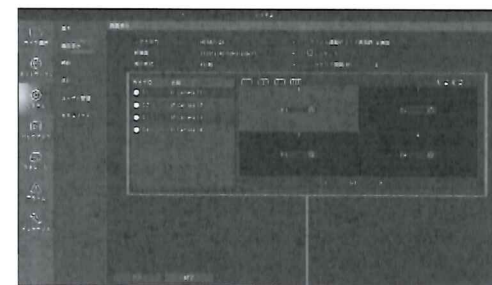
その他

画面表示

■画面表示

管理画面の画面表示を設定します。

(画面は本製品に付属カメラと別売のカメラを 3 台登録した場合です)



レイアウト設定ウィンドウ

項目	内容
ビデオ出力	管理画面の出力方法は、[HDMI/VGA] から変更できません。
解像度	管理画面の解像度を選択します。 [1024*768/60Hz (初期値) / 1280*720/60Hz / 1280*1024/60Hz / 1600*1200/60Hz / 1920*1080/50Hz(1080P) / 1920*1080/60Hz(1080P)]
表示形式	ライブビューの表示方法を設定します。 [全画面 / 4 分割 (初期値) / コリドーモード 3 分割画面 / コリドーモード 4 分割]
アラーム連動のライブ画面数	アラームが発生したときにライブを表示する画面モードを設定します。 [全画面 (初期値) / 4 分割]
シーケンス	チェックすると、設定した間隔で自動的にライブビューの画面表示が切り替えられます。全カメラが 1 画面に表示されているときは、チェックしても画面が切り替わりません。(初期値: 無効)
シーケンス間隔 (秒)	シーケンス表示時の表示時間を設定します。[8 ~ 3600 (初期値: 8)]

はじめに

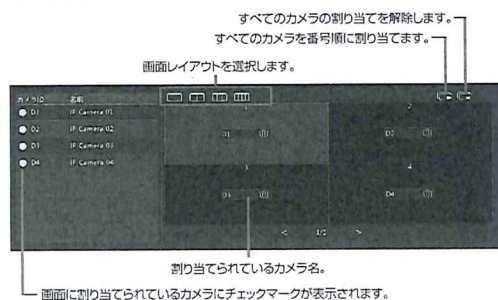
準備

設定

その他

レイアウト設定ウィンドウ

ライブビューのレイアウトを設定することができます。



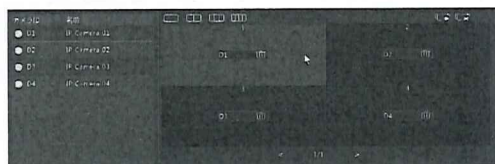
<各場所に割り当てられているカメラを変更したいとき>

例) 上図の状態を、以下の状態に変更したい場合

ウィンドウ「1」:「D1」⇒「D2」のカメラに変更

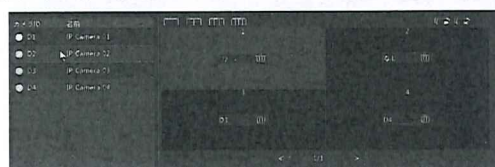
ウィンドウ「2」:「D2」⇒「D1」のカメラに変更

①「1」をクリックして選択状態にします。



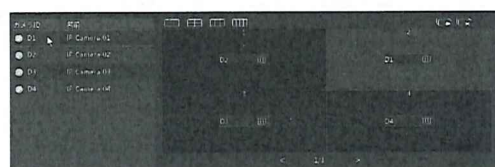
②左のリストから「D2」のチェックマークをクリックします。

ウィンドウ「1」に「D2」が設定され、ウィンドウ「2」の選択が「なし」になります。



③ウィンドウ「2」をクリックしたあと、左のリストから「D1」をクリックします。

ウィンドウ「2」に「D1」のカメラが設定されます。



はじめに

準備

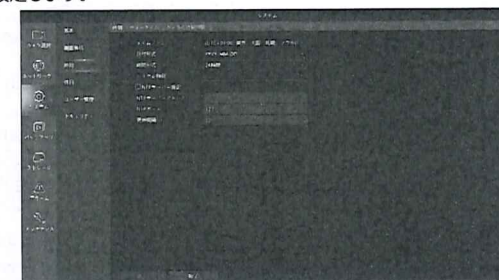
設定

その他

時刻

時刻

本システムの時刻を設定します。



はじめに

準備

設定

その他

項目	内容
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
日付形式	カメラ映像の左上に表示する日付の形式を選択します。 例)「YYYY-MM-DD」の場合「2021-02-12」と表示
時間形式	時間表示形式を選択します。[12 時間 / 24 時間 (初期値)]
システム時刻	システム時刻を設定します。
NTP サーバー設定	NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使用する場合はチェックします。(初期値:無効)
NTP サーバーアドレス	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのアドレスを入力します。
NTP ポート	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのポート番号を入力します。
更新間隔 (s)	NTP を使用する場合は、時刻を更新する間隔を設定します。 [5m (分) / 10 分 (初期値) / 15 分 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 1 日 / 1 週間]

■サマータイム



項目	内容
サマータイム有効	チェックすると、指定した期間、指定した時差でサマータイムを適用できます。

■カメラの時刻同期



項目	内容
カメラの時刻同期	チェックすると、本製品と接続しているカメラの時刻を本製品の時刻に合わせます。通常はチェックを外さずにご利用ください。(初期値：有効)

はじめに

準備

設定

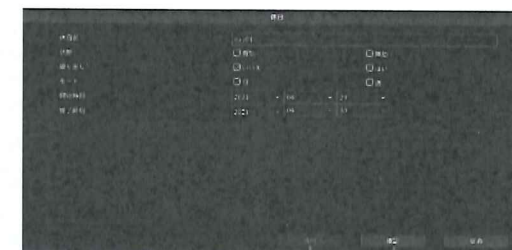
その他

休日

休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。



「休日」画面



選択した内容で休日設定を更新します。選択した内容で設定内容を確定します。

項目	内容
休日名	休日の名称を設定します。
状態	追加する休日を有効にするか無効にするか設定します。 (初期値：有効)
繰り返し	「はい」を選択すると、日ごとまたは週ごとに休日を繰り返します。 (初期値：いいえ)
モード	「繰り返し」で「はい」を選択している場合に、日ごとに繰り返すか、週ごとに繰り返すか設定します。 [日 (初期値)] / 週]
開始時刻 (開始日時) / 終了時刻 (終了日時)	休日に設定する日付を設定します。 (「繰り返し」または「モード」で選択している項目によって設定内容が異なります)

ユーザー管理

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。



項目	内容	
ユーザータイプ	管理者	すべてのアクセス権を持ちます。 初期パスワードは「123456」です。
	予備ユーザー	ログインなしでライブビューを利用可能にするために、あらかじめ登録されているシステム用ユーザーです。新たに作成したり、削除することはできません。また、このユーザーでログインすることもできません。
	オペレーター	基本的な権限とカメラへのアクセス権があります。 基本権限・カメラ権限を設定することができます。
	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。 初期設定ではカメラ権限を設定することができます。 権限の設定変更を行い、基本的な権限へのアクセス権と、基本権限の設定をすることができます。

はじめに

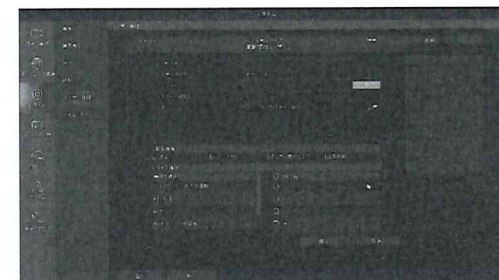
準備

設定

その他

【変更/追加ユーザー】画面

- 重要**
- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
 - 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
 - パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。



はじめに

準備

設定

その他

項目	内容	
ユーザー名	1～18文字でユーザー名を設定します。英字(A-Z,a-z)、数字(0-9)、アンダーバー(_)、ハイフン(-)が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。	
ユーザータイプ	オペレーター	初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。
	ゲスト	初期設定ではカメラへのアクセス権のみです。
パスワード	9～20文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。 ※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > % &	
パスワード(確認)	確認のため、設定したパスワードを再度入力します。	
基本権限	付与する権限を設定します。	
	設定	管理画面にアクセスすることができます。
	アップグレード	システムのアップグレードができます。
	ログの表示と書き出し	システムのログを表示したり、書き出すことができます。
カメラ権限	再起動	システムを再起動することができます。
	カメラごとに付与する権限を設定することができます。選択している項目に対して、チェックが入っているカメラは以下のように権限が与えられます。	
	ライブビュー、双方向通話	ライブビューを表示したり、双方向通話ができます。
	PTZ制御	PTZ制御パネルでカメラを制御できます。
	再生	録画データを再生することができます。
	NVR マニュアル録画	ネットワークレコーダーのマニュアル録画をすることができます。
	ローカルバックアップ	ネットワークレコーダーのデータをバックアップすることができます。

- モニター管理画面で入力したユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
- ユーザーは最大33ユーザー※まで登録できます。
(あらかじめ登録されている「admin」「default」ユーザーを含む)

セキュリティ

指定した IP アドレスからネットワークレコーダーへのアクセスを許可または禁止することができます。



■ IP アドレスフィルタリング

項目	内容				
IP アドレスフィルタリングを有効にします	チェックすると、IP 制御機能が有効になります。(初期値：無効)				
制御タイプ	<table border="1"> <tr> <td>ブロックリスト</td><td>指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。</td></tr> <tr> <td>許可リスト</td><td>指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。 IP アドレスを指定せずに、「許可リスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。</td></tr> </table> 🔧 制御タイプを変更したときには、「適用」ボタンを押して変更を先に確定してください。	ブロックリスト	指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。	許可リスト	指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。 IP アドレスを指定せずに、「許可リスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。
ブロックリスト	指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。				
許可リスト	指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。 IP アドレスを指定せずに、「許可リスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。				
開始 IP	ブロックリストまたは許可リストに追加する IP アドレスの範囲を入力します。 [追加] をクリックすると、入力した範囲の IP アドレスがリストに追加されます。				
終了 IP	[追加] の場合は「適用」をクリックしなくても設定が反映されます。 変更する場合は、設定値変更後に「適用」をクリックしてください。				

■ ONVIF 認証

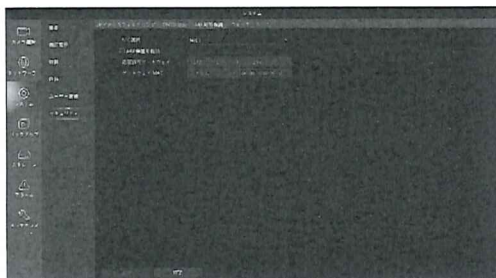
通常は本設定を変更せずご利用ください。本製品のカメラでは利用できません。
本設定は将来の機能拡張のためにのみ用意しております。



項目	内容
認証を有効	チェックすると、ONVIF ベースのデバイスアクセスにユーザー名とパスワードが必要になります。(初期値：有効)

■ ARP 応答保護

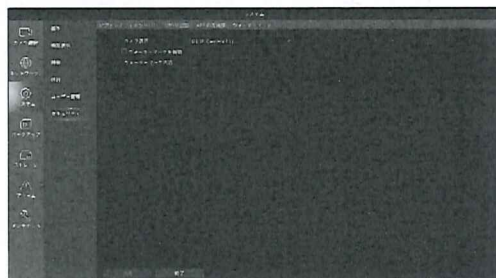
ARP 保護機能を有効にすると、ARP 攻撃を防ぐことができます。



項目	内容
NIC 選択	[NIC1] から変更できません。
ARP 保護を有効	チェックを入ると、ARP 保護機能が有効になります。(初期値：無効)
応答許可 ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます (変更不可)。
ゲートウェイ MAC	ゲートウェイの MAC アドレスを自動的に取得するか、手動で設定します。

■ ウォーターマーク

不正な変更を防ぐためにビデオデータの中に、ウォーターマークで設定した文字列を書き込んで、どのカメラで撮影した映像か、あとで確認することができます。



項目	内容
カメラ選択	対象となるカメラを選択します。
ウォーターマーク を有効	チェックすると、ウォーターマーク機能が有効になります。(初期値：無効)
ウォーターマーク 内容	ウォーターマークとして使用する文字列を入力します。

バックアップ

録画ステータス

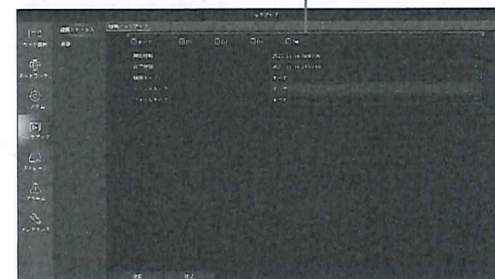
■ 録画バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できないとは、157 ページをご確認ください。

バックアップ対象のカメラを選択します。



設定した条件で映像を検索します。

項目	内容								
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。								
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。								
録画タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて (初期値)</td><td>すべての映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>ノーマル</td><td>通常の録画映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>手動</td><td>手動録画した映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>イベント</td><td>イベントとして録画された映像から選択します。</td></tr> </table>	すべて (初期値)	すべての映像から選択します。	ノーマル	通常の録画映像から選択します。	手動	手動録画した映像から選択します。	イベント	イベントとして録画された映像から選択します。
すべて (初期値)	すべての映像から選択します。								
ノーマル	通常の録画映像から選択します。								
手動	手動録画した映像から選択します。								
イベント	イベントとして録画された映像から選択します。								
イベントタイプ	[録画タイプ] で [イベント] を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。 [すべて (初期値)] / 動物検知 / アラーム / 動物検知とアラーム / 動物検知またはアラーム / ビデオロス検出 / 人体検知 / ドアベルコール								
ファイルタイプ	映像の種類を以下の中から指定します。[すべて (初期値)] / 解除 / 保護								

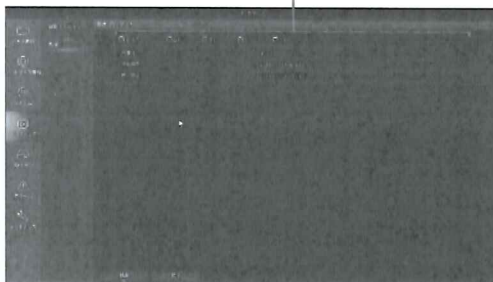
画像

■画像バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている画像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 画像のファイル形式は、「.jpg」です。

バックアップ対象のカメラを選択します。



設定した条件で映像を検索します。

項目	内容	
画像タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。	
	すべて（初期値）	すべての映像から選択します。
	プレイバックスナップショット	再生映像を再生中にキャプチャした静止画として保存します。
	プレビュースナップショット	ライブビューの映像をキャプチャした静止画として保存します。
開始時刻	画像の開始時刻を指定します。	
終了時刻	画像の終了時刻を指定します。	

はじめに

準備

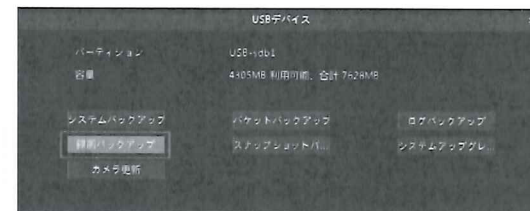
設定

その他

録画データをバックアップする

- 1 USB ストレージデバイスを本製品に接続したときに表示されるメニューから「録画バックアップ」を選択します。

※ UBS ストレージを本製品に接続したときだけ表示されるメニューです。



- 2 「バックアップ」－「録画ステータス」をクリックします。
バックアップ画面が表示されます。



- 3 バックアップしたい映像の条件を指定し、「検索」をクリックします。



はじめに

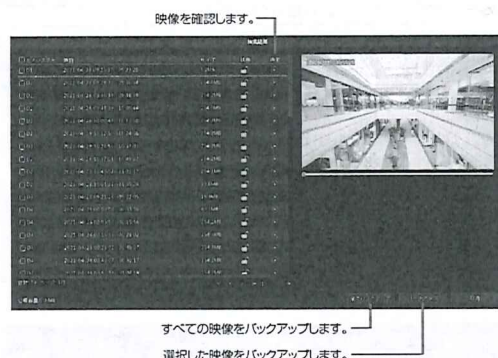
準備

設定

その他

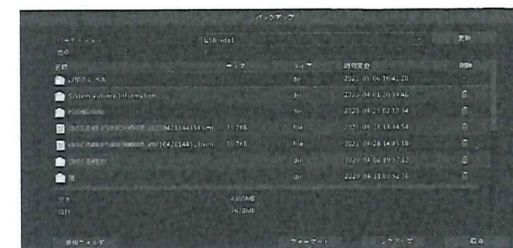
項目	内容
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
録画タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。
	すべて 全ての映像から選択します。
	ノーマル 通常の録画映像（手動録画した映像・動体検知録画・アラーム録画含むイベント録画として録画された映像以外）から選択します。
	手動 手動録画した映像から選択します。
イベントタイプ	イベントとして録画された映像から選択します。
	イベントタイプで「イベント」を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。 [すべて/動体検知/アラーム/動体検知とアラーム/動体検知またはアラーム/ビデオロス検出/人体検知/ドアベルコール]
ファイルタイプ	映像の種類を以下の中から指定します。[すべて/解除/保護]

4 検索結果画面が表示されますので、バックアップする映像を選択するか、[全てバックアップ] をクリックします。



- 本製品では、カメラの映像を約 250MB ごとに 1 つのファイルとして内部で管理しています。バックアップ時にもこの内部ファイル単位でバックアップファイルが作成されます。そのため、開始時間・終了時間によっては、複数のファイルが出力されます。
- 録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。※ 外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

5 バックアップ画面が表示されますので、フォルダを選択し、[バックアップ] をクリックします。



- 接続されている USB ストレージデバイスの容量が 2TB を超える場合は、[フォーマット] をクリックすると、NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。容量が 2TB 以下の場合、FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。
- バックアップファイルの名前は、「(カメラ名) (録画開始時間).mp4」となります。
(例: D1_S20230830201301_E20230830201501.mp4)
- 画像のバックアップは、[バックアップ] - [画像] メニューから同じ手順で行います。ファイルの拡張子は「.jpg」となります。

データをバックアップする

本製品の設定データを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。

- 1 USB ストレージデバイスを本製品に接続します。
本製品の電源が入っているときに、USB ストレージデバイスを接続します。
- 2 USB ストレージデバイス接続後に自動表示されるメニューから、接続している USB デバイスの名前をクリックします。
- 3 [USB デバイス] 画面が表示されますので、バックアップメニューをクリックします。



バックアップ方法は以下の各参照ページをご参照ください。

番号	項目	内容	参照ページ数
①	システムバックアップ	設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。	122 ページ
②	録画バックアップ	本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存します。	95 ページ
③	バケットバックアップ	バケットをキャプチャして保存します。	119 ページ
④	スナップショットバックアップ	スナップショットを保存します。	—
⑤	ログバックアップ	ユーザーが実行した操作やデバイスのステータスの履歴を保存します。	121 ページ

はじめに

準備

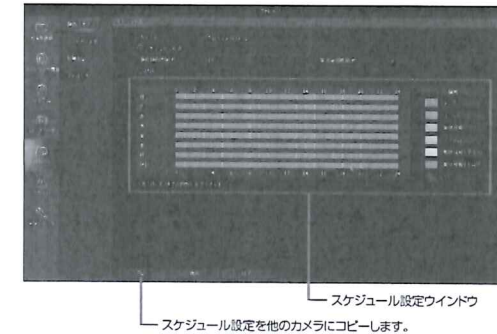
設定

その他

ストレージ

録画ステータス

録画スケジュールを表示することができます。



はじめに

準備

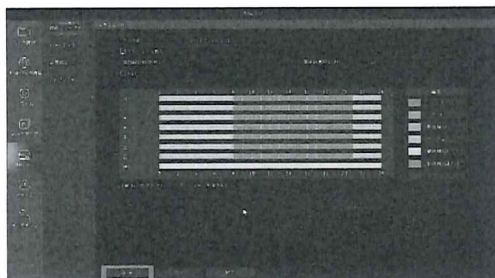
設定

その他

項目	内容
カメラ名	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	チェックを入れると、スケジュール設定が有効になります。(初期値：有効)
事前録画時間 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。 [0 / 5 / 10 (初期値) / 20 / 30 / 60]
事後録画時間 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。 [5 / 10 / 30 / 60 (初期値) / 120 / 300 / 600]
ANR	カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダに映像データを補間します (カメラ内に microSD カードを挿入してください)。使用するカメラでも ANR の設定を ON にしてください (⇒ 33 ページ)。
編集	他の曜日に設定をコピーすることができます (⇒ 31 ページ)。

スケジュールをコピーする方法

①コピー元となるカメラのスケジュールを表示し、[コピー] をクリックします。



②[コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③[確認] をクリックします

はじめに

準備

設定

その他

ハードディスク

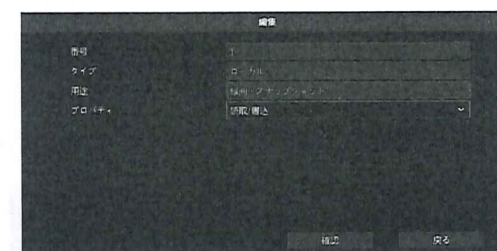
内蔵ハードディスクの設定をします。

ハードディスク編集画面を表示します。



選択したHDDをフォーマットします。
最新の情報に更新します。

ハードディスク編集画面



項目	内容	
プロパティ	読取 / 書込 (初期値)	読み取りと書き込みができます。
	読取専用	書き込みができなくなります。

はじめに

準備

設定

その他

容量設定

カメラごとに映像と画像を保存する場所を設定します。



設定を他のカメラにコピーします。

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
録画使用量 (GB)	現在録画で使用している録画データのサイズが表示されます。
画像使用量	現在画像で使用している画像データのサイズが表示されます。
ディスク容量	ディスク容量が表示されます。
最大録画容量 (GB)	保管する録画データサイズの上限を設定します。すでに録画データがある状態でこの設定値を変更すると、以前の録画データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大録画容量分の空きが確保されます。
最大画像容量 (GB)	保管する画像データサイズの上限を設定します。すでに画像データがある状態でこの設定値を変更すると、以前の画像データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大画像容量分の空きが確保されます。

- 注意**
- 映像の保存ファイルは、約 0.25GB 単位で内部管理されています。そのため、最大容量を設定した場合でも、指定した値より 0.25GB 程度多く録画データが作成される場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合、利用可能なスペースを最大限利用します。また、HDD がいっぱいになっていても録画 / 画像の保存を停止せず、もっとも古いデータを上書きして（ファイル単位でデータを削除）、録画 / 画像の保存を継続します。

容量設定をコピーする方法

① コピー元になるカメラの内容を設定し、[コピー] をクリックします。



② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③ [確認] をクリックします。

アドバンスド

ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。



項目	内容	
HDD フル時	上書き (初期値)	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」(ゼロ)の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」(ゼロ)以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます (ファイル単位でデータを削除)。
	停止	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」(ゼロ)の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます (ファイル単位でデータを削除)。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」(ゼロ)以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、それ以上録画 / 画像データは保存されません。

注意 容量設定画面で設定した、「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」(ゼロ)の場合は、「停止」を選択しても、古いデータを上書きして録画を継続します。

はじめに

準備

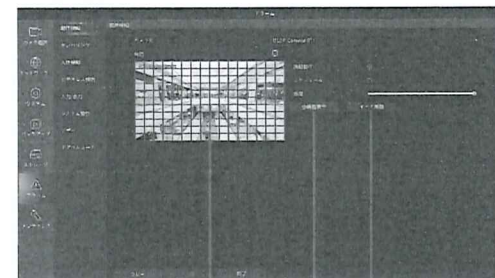
設定

その他

アラーム

動体検知

動体検知機能を有効にすると、動体を検知したときにライブビューの右上にアラームアイコンが表示されます。初期設定では動体検知は有効になっています。



選択中のカメラの設定を他のカメラにコピーします。→ 動体検知範囲
動体検知範囲を画面全体に設定します。→
動体検知範囲設定をすべて削除します。→

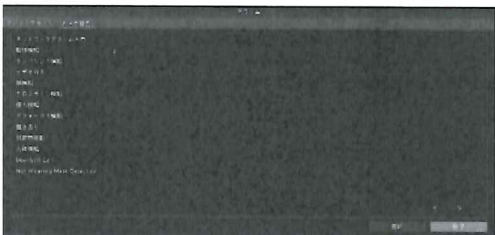
項目	内容
カメラ名	動体検知を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの動体検知機能が有効になります。 (初期値：有効)
連動動作	動体検知したときに連動させる動作を設定します。 ⇒ 38 ページ「動体検知連動動作画面」
スケジュール	動体検知を有効にするスケジュールを設定します。 ⇒ 104 ページ「動体検知スケジュール画面」
感度	動体検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど (スライダーが右にあるほど)、わずかな動きでも検知しやすくなります。[1 ~ 100 (初期値：98)]

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

動体検知連動動作画面

動体検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、動体検知時にブザーが鳴ります。 (初期値：無効)
Eメール送信	チェックを入れると、動体検知時にEメールを送信します。 Eメールの設定は73ページの「Eメール」をご参照ください。 以下のようなEメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: 動体検知, カメラID:*)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N値: ((レコーダーのデバイス番号)) (初期値：無効)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、動体検知時にポップアップウィンドウが表示されます。  (初期値：無効)
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 動体検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在ではご利用いただくことはできません。 <画面表示> 動体検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 <アラーム出力> 動体検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。

はじめに

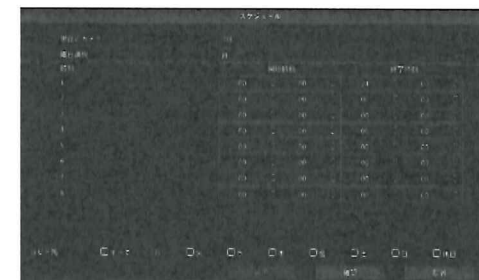
準備

設定

その他

動体検知スケジュール画面

動体検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	動体検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

はじめに

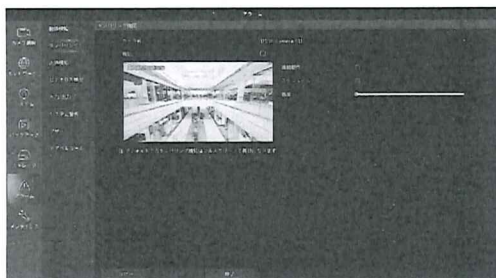
準備

設定

その他

タンパリング

タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力し、カメラを覆い隠すようなイタズラがあったときに検知できるようになります。初期設定では無効になっています。



選択中のカメラの設定を他のカメラにコピーします。

項目	内容
カメラ名	タンパリング機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラのタンパリング機能が有効になります。 (初期値：無効)
連動動作	タンパリングを検知したときに連動させる動作を設定します。 ⇒ 41 ページ「タンパリング連動動作画面」
スケジュール	タンパリング機能を有効にするスケジュールを設定します。 ⇒ 107 ページ「タンパリングスケジュール画面」
感度	タンパリングの感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知しやすくなります。[1 ~ 100 (初期値：1)]

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

はじめに

準備

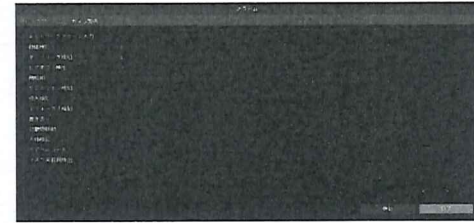
設定

その他

タンパリング連動動作画面

タンパリング検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、タンパリング検知時にブザーが鳴ります。 (初期値：無効)
Eメール送信	チェックを入れると、タンパリング検知時にEメールを送信します。 Eメールの設定は73ページの「Eメール」をご参照ください。 以下のようなEメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: タンパリング検知, カメラ ID: **)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: ((レコーダーのデバイス番号)) (初期値：無効)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、タンパリング検知時にポップアップウィンドウが表示されます。  (初期値：無効)
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。

はじめに

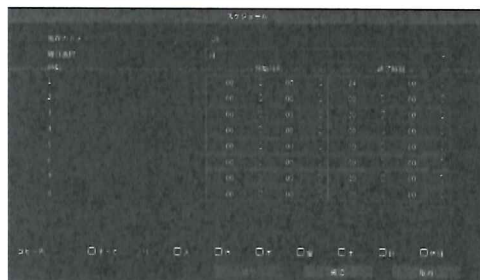
準備

設定

その他

タンパリングスケジュール画面

タンパリング検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
日時選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	タンパリング検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

はじめに

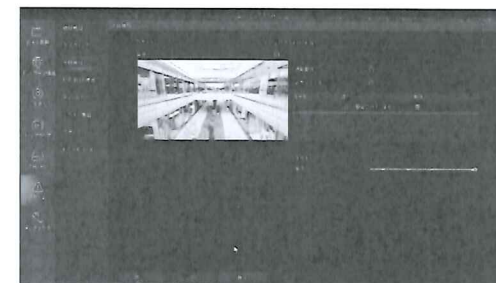
準備

設定

その他

人体検知

人体検知を有効にすると、指定したエリアで人を検知したときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。



選択中のカメラの設定を他のカメラにコピーします。

項目	内容	
カメラ名	人体検知を設定するカメラを選択します。	
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの人体検知が有効になります。 (初期値：無効)	
連動動作	人体を検知したときに連動させる動作を設定します。 (設定方法は、タンパリング連動動作画面と同じです⇒ 106 ページ)	
スケジュール	人体検知を有効にするスケジュールを設定します。 (設定方法は、タンパリングスケジュール画面と同じです⇒ 107 ページ)	
ルール	検知エリア	ルールの右の「描く」をクリックし、ライブ画面上で、エリア（枠）を描き、検知エリアを設定してください。 ゴミ箱をクリックすると、検知エリアを削除できます。
	感度	人体検知の感度を設定します。 数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知しやすくなります。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

はじめに

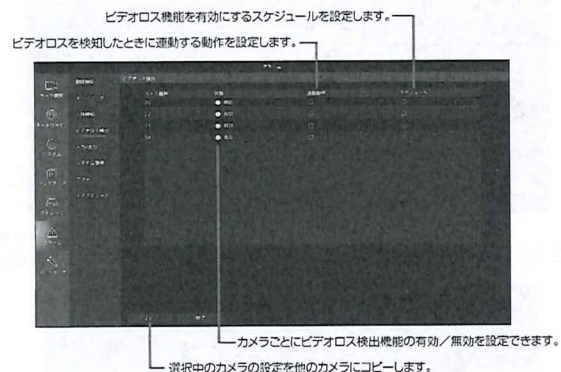
準備

設定

その他

ビデオロス検出

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの無線 LAN 接続の通信障害などのトラブルを検知できるようになります。初期設定では有効になっています。
(画面は本製品に付属カメラと別売のカメラを 3 台登録した場合です)



設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

はじめに

準備

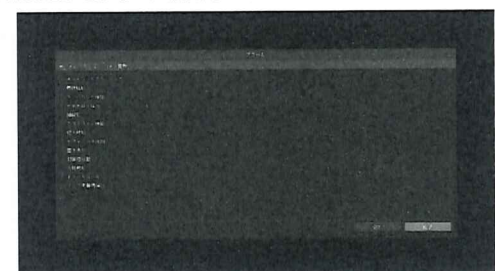
設定

その他

連動動作画面

ビデオロスを検知したときに連動させる動作を設定します。

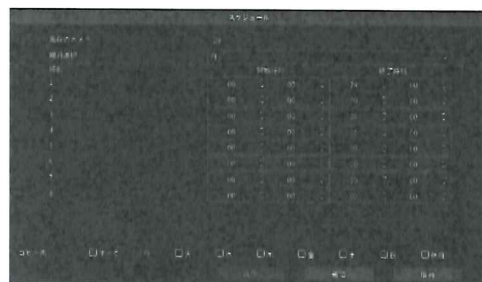


項目	内容
ブザー	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーが鳴ります。(初期値：無効)
Eメール送信	チェックを入れると、ビデオロス検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 73 ページの「Eメール」をご参照ください。 以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: ビデオロス、カメラ ID:*)」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値 (レコーダーのデバイス番号) (初期値: 無効)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、ビデオロス検知時にポップアップウィンドウが表示されます。  (初期値: 無効)
連動動作	動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 動体検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。 <画面表示> 動体検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 <アラーム出力> 動体検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。

ビデオロス検知に録画の開始、プリセット、ライブビュー動作を連動させることはできません。

ビデオロススケジュール画面

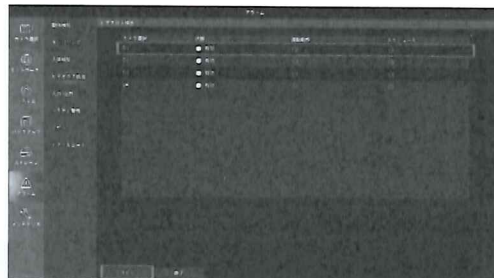
ビデオロス検出機能を有効にするスケジュールを設定します。



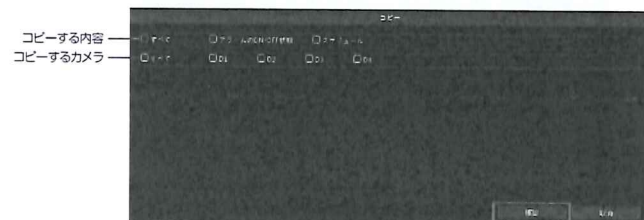
項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ⇒ 84 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	ビデオロス検出機能を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

ビデオロス検出機能の設定をコピーする方法

① コピー元になるカメラを選択し、[コピー] をクリックします。



② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーする内容とコピーするカメラにチェックを入れ、[確認] をクリックします。



入力/出力

※本製品ではサポートしておりません。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

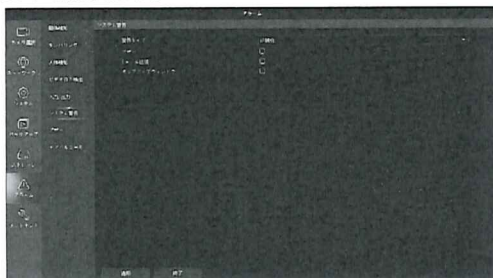
準備

設定

その他

システム警告

システムに関する警告について設定します。



項目	内容																
警告タイプ	設定する警告のタイプを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>IP 競合 (初期値)</td><td>本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき</td></tr> <tr> <td>ネットワーク未接続</td><td>ネットワークが切断されたとき</td></tr> <tr> <td>ディスクオフライン</td><td>ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき</td></tr> <tr> <td>ディスク異常</td><td>ディスクは検出しているがアクセスができないとき</td></tr> <tr> <td>不正アクセス</td><td>ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクの空き容量が少ない</td><td>残りのディスク容量が 10% 未満になったとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクフル</td><td>ディスク容量がなくなったとき</td></tr> <tr> <td>録画 / スナップショット異常</td><td>録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき</td></tr> </table>	IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき	ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき	ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき	ディスク異常	ディスクは検出しているがアクセスができないとき	不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき	ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10% 未満になったとき	ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき	録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき
IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき																
ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき																
ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき																
ディスク異常	ディスクは検出しているがアクセスができないとき																
不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき																
ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10% 未満になったとき																
ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき																
録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき																
ブザー	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにブザーが鳴ります。(初期値：無効)																
E メール送信	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにメールを送信します。 Eメールの設定は 73 ページの「Eメール」をご参照ください。 ✉ 発生した警告タイプにより、以下のような Eメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:IP 競合)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクオフライン)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクエラー)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ネットワーク未接続)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:容量不足, カメラ ID:**)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:不正アクセス)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:録画 / スナップショット異常, カメラ ID:**)」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) ※ デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)」 ※「IP 競合」「ディスクオフライン」「ディスク異常」「ネットワーク未接続」「不正アクセス」では、カメラ名は記載されません。 (初期値：無効)																

はじめに

準備

設定

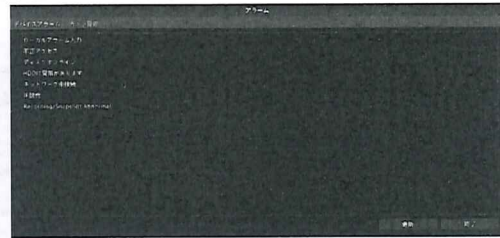
その他

はじめに

準備

設定

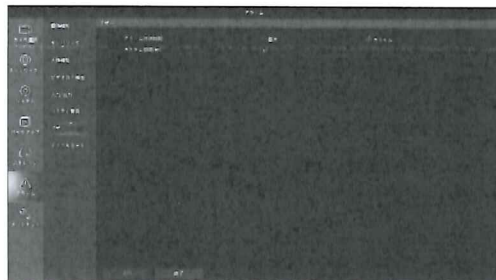
その他

項目	内容
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。検知されたアラームの数が表示されます。  (初期値：無効)

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

ブザー

ブザーを鳴らす時間を設定します。



項目	内容	
アラーム持続時間	最大	最大の時間 (60 秒) ブザーを鳴らします。
	カスタム (初期値)	指定した秒数ブザーを鳴らします。
カスタム期間 (秒)	ブザーを鳴らす秒数を設定します。 [1 ~ 600 (初期値: 30)]	

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

ドアベルコール

本製品のカメラではこの機能はサポートしておりません。

はじめに

準備

設定

その他

メンテナンス

システム情報

■基本情報

システムの基本情報を表示します。



■カメラ選択

カメラの状態を表示します。



■録画ステータス

録画の状態を表示します。

(画面は本製品に付属カメラと別売のカメラを 3 台登録した場合です)



はじめに

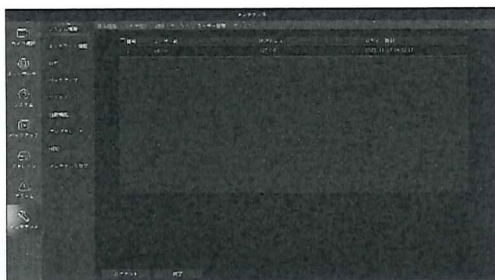
準備

設定

その他

■ユーザー管理

管理ユーザーの追加・削除の編集をするメニューです。



■ディスク

ハードディスクの状態を表示します。



はじめに

準備

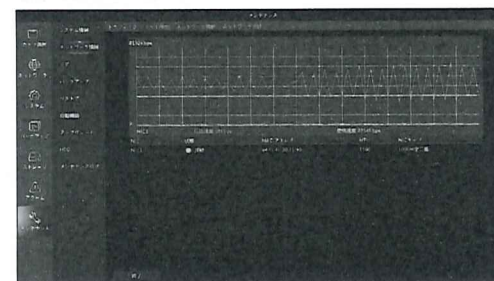
設定

その他

ネットワーク情報

■トラフィック (ネットワークフロー)

ネットワークに流れているデータ量をリアルタイムに折れ線グラフで表示します。青い線は、本製品から送出しているデータ量、黄色い線は本製品が受信しているデータ量を表します。



はじめに

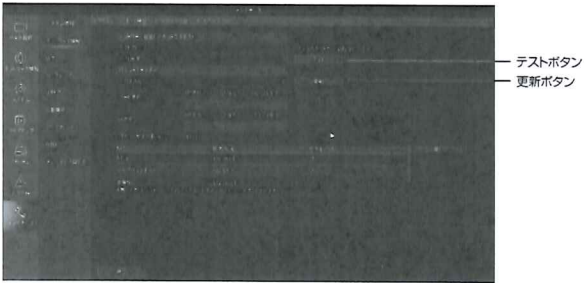
準備

設定

その他

■ネット検出

ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。また、パケットを USB ストレージに保存することができます。



ネットワーク遅延とパケットロステスト	ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。	
	テストアドレス	テスト送信するアドレスを設定します。
	Ping パケットサイズ (Bytes)	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
パケットキャプチャ (ネットワークパケットの書き出し)	テスト結果	[テスト] ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。
	本製品に接続している USB ストレージにパケットをキャプチャして保存することができます。	
	[書き出し (📄)] をクリックすると、キャプチャが保存されます。	
	ファイル名は、「(NIC 名) (日付) (時間) .pcap」の形式で保存されます。	
	[開く] をクリックすると、USB ストレージの内容が表示されます。	
	キャプチャしたデータは「取消」をクリックするか、USB ストレージが一杯になるまで保存されます。	
	デバイス名	キャプチャを保存するデバイスを選択します。
	ポート選択	更新ボタンをクリックすると、デバイス名を更新することができます。
	IP 選択	キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。
	パケットサイズ (Bytes)	保存するパケットのサイズを設定します。

- パケットキャプチャはメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- 詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください。

はじめに

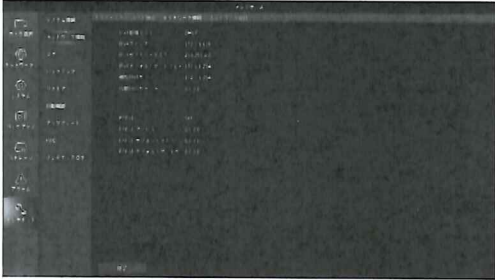
準備

設定

その他

■ネットワーク情報

ネットワーク情報を表示します。



はじめに

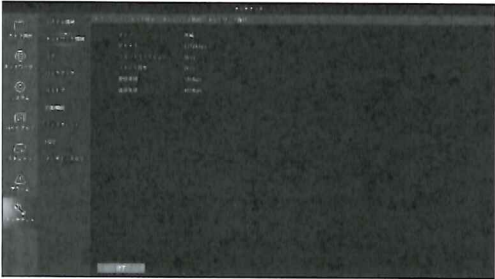
準備

設定

その他

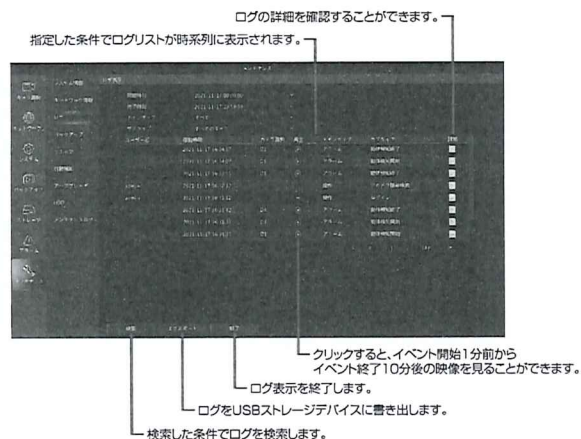
■ネットワーク合計

ネットワーク帯域の使用状況を表示します。



ログ

ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。



項目	内容
開始時刻	ログを取得する時間を設定します。
終了時刻	
メインタイプ	ログの検索条件（大項目）を選択します。[すべて]を選択することもできます。 [すべて（初期値）・アラーム・システム警告・操作・通知]
サブタイプ	ログの検索条件（小項目）を選択します。[すべてのタイプ]を選択することもできます。 選択したメインタイプの項目により、選択できる項目が異なります。

ライブビューの表示に切り替えると、ログに「IPカメラ簡単検索」のログが残ることがあります。

はじめに

準備

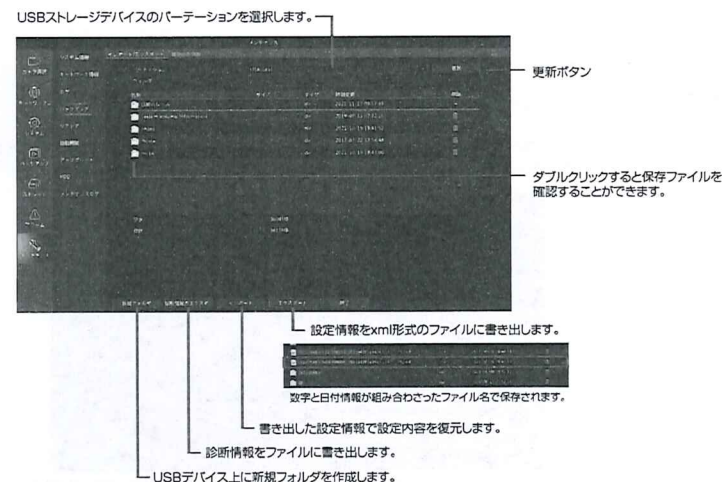
設定

その他

バックアップ

■インポート/エクスポート

設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。更新ボタンをクリックすると、表示を更新します



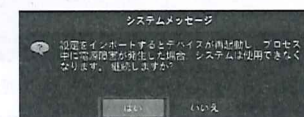
システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。

設定内容を復元する方法

- ① 設定情報を書き出した xml ファイルを選択します。
- ② [インポート] をクリックします。



- ③ 確認のダイアログボックスが表示されますので、[はい] をクリックしてシステムを再起動します。



はじめに

準備

設定

その他

履歴診断情報

診断情報を 14 日間保管します。空き容量が満杯になると、一番古い情報が上書きされます。



診断情報のファイルをUSBに書き出します。

現在表示されている診断情報のファイルをUSBに書き出す場合は、「すべてのエクスポート」をクリックするか、書き出したい履歴診断情報の番号にチェックを入れ、画面左下の「エクスポート」をクリックします。

本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

はじめに

準備

設定

その他

リストア

設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻すことができます。実行すると、システムが再起動します。



項目	内容
デフォルト	ネットワーク設定とユーザー設定を除いて設定を工場出荷時の状態に戻します。
工場出荷設定	設定をすべて工場出荷時に戻します。ネットワーク設定およびユーザー設定も初期化されます。

カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

自動機能

指定した時間に、再起動したり、録画映像を削除する設定を行います。



項目	内容
自動再起動	自動的に再起動する曜日と時刻を設定します。
ファイルの自動削除 (S)	何日以上前のファイルを削除するのを設定します。削除されるファイルは録画された映像です。

はじめに

準備

設定

その他

アップグレード

DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。

本製品に付属のカメラは、クラウド録画サービスの専用アプリ「antenna-eye」は非対応です。詳しくは、弊社 Web サイトの「D サポ！」をご確認ください（⇒ 167 ページ）。

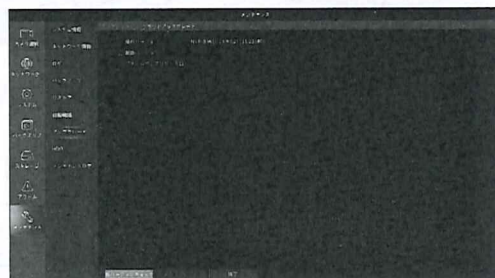


ファームウェアファイルを選択したあとにクリックすると、アップグレードが開始されます。

クラウドアップグレード

クラウドに接続している場合、新しいバージョンの確認とクラウドからファームウェアのアップグレードができます。

現在この機能は、使用できません



はじめに

準備

設定

その他

HDD

■ S.M.A.R.T テスト

ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。

重要 このテストの実行中は、ほかの操作は行わないでください。



項目	内容	
ディスク選択	評価するディスクを選択します。	
評価の種類	不足	比較的簡易な評価を行います。
	拡張	より徹底した評価を行います。
	運搬	おもにデータ伝送の問題を検出します。
評価の状態	評価の状態が表示されます。	
メーカー	ハードディスクの情報が表示されます。	
モデル		
ファームウェアバージョン		
ディスク温度 (°C)		
稼働時間 (日)		
自己評価	評価結果が表示されます。[失敗] と表示された場合は、故障する可能性が高いので、すぐにディスクを交換することをおすすめします。	
総合評価		

はじめに

準備

設定

その他

■不良セクタ検出

ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。

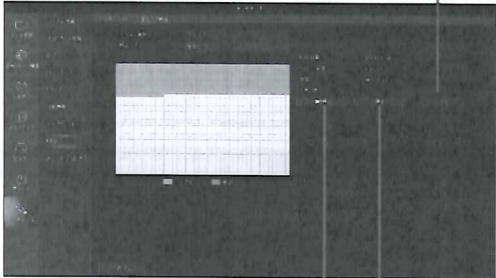


チェック結果が表示されます。 チェックを開始します。

項目	内容	
ディスク選択	チェックするディスクを選択します。	
検出タイプ	チェックする範囲を選択します。	
	重要エリア	ディレクトリなどのデータ管理エリアをチェックします。
	全検出	すべての範囲をチェックします。

不良セクタ検出中

破損(赤色)が表示されたときにクリックして、詳細を確認します。



検出動作を一時停止します。 検出動作を停止します。

項目	内容
ノーマル	セクタは問題ありません
破損	不良セクタがあります。

はじめに

準備

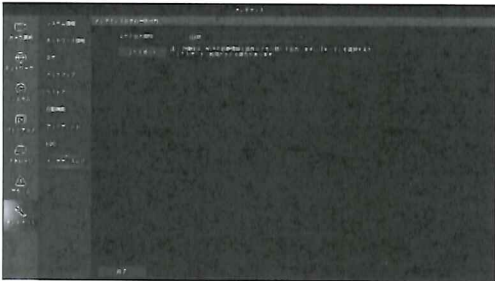
設定

その他

メンテナンスログ

■メンテナンスログの一括出力

NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。



項目	内容
ログの出力期間	[1 日 / 3 日 (初期値) / 7 日 / すべて]

はじめに

準備

設定

その他

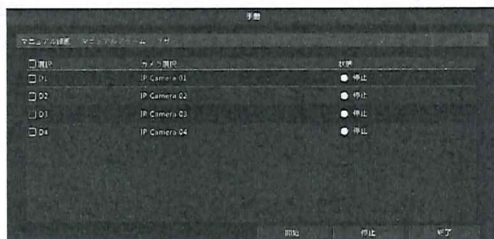
手動

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「手動」をクリックすると、手動の画面が表示され、「録画」「ブザー」を手動で設定／解除できます。



マニュアル録画

手動で選択したカメラの録画を開始・停止します。
(画面は本製品に付属カメラと別売のカメラを3台登録した場合です)



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	録画状態が表示されます。

はじめに

準備

設定

その他

手動アラーム

手動でアラームにトリガーを設定します。
※本製品ではサポートしておりません。



項目	内容
トリガー	トリガーの状態が表示されます。

はじめに

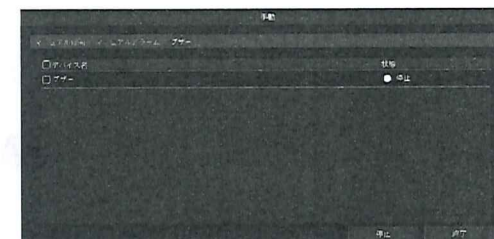
準備

設定

その他

ブザー

ブザーを手動で停止します。

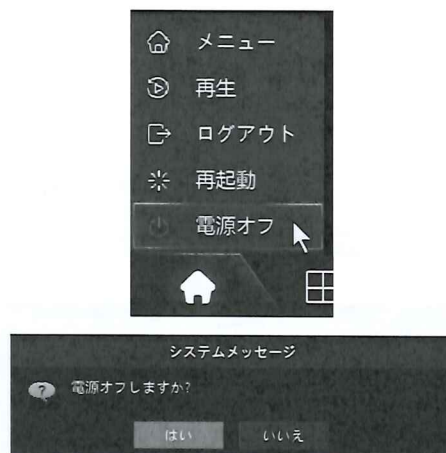


項目	内容
状態	ブザーの状態が表示されます。

電源オフ

電源オフ

システムのログアウト、再起動、電源オフを行います。



- 電源を遮断する場合は、AC アダプターのプラグを本体から抜きます。
- 電源オフ後に電源を再度 ON にするときは、AC アダプターを抜き差しします。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

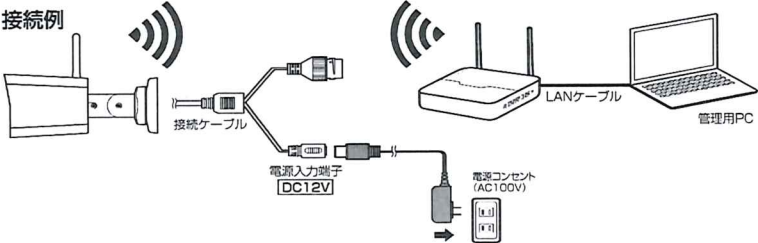
その他

設定

ブラウザから
Web 管理画面にアクセスする

Web 管理画面について

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスすることもできます。有線 LAN ケーブルを使って、ネットワークレコーダーとカメラを接続している場合は、無線 LAN 経由でネットワークレコーダーに登録をしておいてください。付属の取扱説明書もあわせてご確認ください。



1 管理用 PC で Microsoft Edge を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.30

●管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。

ルーターなど DHCP サーバ機能がある機器を接続すると、「192.168.1.30」ではアクセスできなくなります。その場合は、本製品に割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

本製品と管理用 PC を LAN ケーブルで接続し、ログインします。

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。「メニュー」→「ネットワーク」で「基本」「TCP/IP」を表示します。このとき、IPv4 アドレスに記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

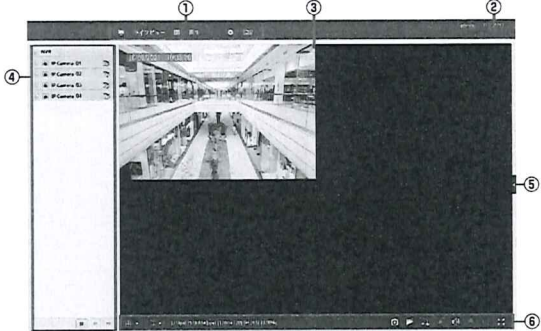
ユーザー名: admin

パスワード: 設定したパスワード (初期設定は 123456)

重要 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
➡ 152 ページ「ログインパスワードを変更する」

- admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。
この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります
- Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。
- 【最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、...】という黄色い帯が表示されたら、クリックし、以下の手順でプラグインをインストールしてください。
 - ① 【最新のプラグインを...】の文字をクリックします。
 - ② 画面下部に下記の確認メッセージが表示されますので、[実行] をクリックします。
 - ③ [このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?] というダイアログボックスが表示されますので、[はい] を選択します。
インストールが始まります。
 - ④ インストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されますので、[Finish] をクリックします。
すでにプラグインをインストール済みの状態で再インストールを行うと、以下のエラーメッセージが表示されます。
すでに古いバージョンの SurveillanceViewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの SurveillanceViewer を削除してください。

ホーム画面



番号	項目	内容
①	メインメニュー	ライブビュー
		再生
		設定
②	ログアウト	管理画面からログアウトします。
③	ライブビュー	本製品に接続しているネットワークカメラのライブビューが表示されます。 ライブビューに表示するカメラをクリックして選択することができます。
④	カメラ選択リスト	クリックすると、双方向通話機能がオンになります。 ※本製品ではサポートしておりません。
		接続中のネットワークカメラです。
		未接続のネットワークカメラです。
		ストリームを切り替えます。
		映像の再生/停止を切り替えます。
		ツールメニューで画面分割を変更したときに、次画面 / 前画面に切り替えます。ただし、分割画面表示のときに、ダブルクリックで 1 画面だけ拡大したときにはこのボタンは使用できません。
⑤	コントロールパネル	PTZ 制御パネルと画像調整パネルを表示します。
⑥	ツールメニュー	➡ 136 ページ「ツールメニュー」

はじめて、本製品にログインした時は、下記のパスワード変更ダイアログが表示されます
入力フィールドの外側をクリックすると、入力フィールドにカーソルが一瞬表示され入力可能になったように見える場合がありますが、実際には入力できない状態ですので、フィールドを正しくクリックしてからパスワードを入力してください。

- 重要**
- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
 - 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
 - パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。
 - パスワードの復旧設定を行う場合は、連絡先メールアドレスを入力してください。

パスワードを紛失した場合は、お客様の環境でパスワードを初期化する方法はありません。
サポートセンターへお問い合わせください。

はじめに

準備

設定

その他

ツールメニュー



番号	項目	内容
①	画面分割数	画面の表示レイアウトを選択します。
②	ストリームタイプ	表示する映像のストリーム形式を選択します。
③	映像情報	フレームレートや解像度など映像の情報を表示します。
④	スナップショット	スナップショットを保存します。
⑤	ローカル録画	映像を録画し、ダウンロードします。 この機能は Web 管理画面を使用しているパソコンに直接記録するものです。設置のときなどに、どのような映像が撮れるのかのサンプル作成などの目的に使用するものですので、Web 管理画面にログインできるすべてのユーザーが使用できます。
⑥	デジタルズーム	映像を拡大表示します。クリック後、拡大したい範囲をドラッグして指定します。
⑦	コントロールパネル	コントロールパネルを開き、カメラのズーム操作（対応カメラのみ）や、映像の画質を調整することができます。
⑧	音量	カメラから入る音声の音量を調整します。 ミュートにすることも可能です。
⑨	マイク音量	カメラから出る音声の音量を調整します。 ※本製品ではサポートしておりません。
⑩	3D ポジショニング	3D ポジショニング機能のオン/オフを切り替えます。 ※本製品ではサポートしておりません。
⑪	全画面表示	ライブビュー画面を全画面表示します。ESC キーを押すと、元の画面に戻ります。

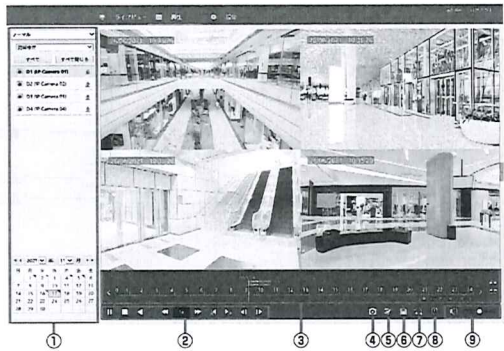
はじめに

準備

設定

その他

再生画面



(画面は本製品に付属カメラと別売のカメラを3台登録した場合です)

番号	項目	内容
①	動画選択	再生したい動画を選択します。➡ 139 ページ「動画選択パネル」
②	コントロール パネル	再生／一時停止
		停止
		逆再生
		再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度 (-1/2x、-1/4x など) は設定できません
		再生速度表示
		30 秒巻き戻し／30 秒早送り
		コマ戻し／コマ送り
③	タイムライン	
④	スナップショット	クリックすると、現在アクティブ状態になっているカメラの画像が保存されます。

はじめに
準備
設定
その他

はじめに
準備
設定
その他

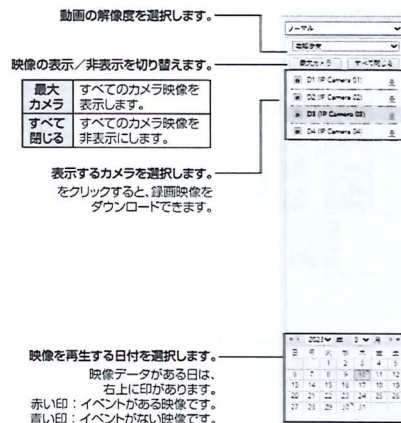
番号	項目	内容
⑤	クリッピング	ビデオの一部を切り取って保存することができます。タイムライン上の切り取りを開始したい位置でクリック後、クリッピングボタンをクリックし、タイムライン上の終了したい位置でもう一度クリックして指定します。切り取られる箇所は水色で表示されます。
⑥	保存	クリッピングした箇所の映像をダウンロードします。
⑦	デジタルズーム	画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。
⑧	カスタムタグ	追加選択中の再生位置に任意の名前のタグを付けます。
⑨	音量	スライダーで音量を調整します。スピーカーアイコンをクリックするとミュート（消音）になります。

動画選択パネル

再生する動画を選択します。

■ノーマル

すべての録画映像を日付から検索して再生します。



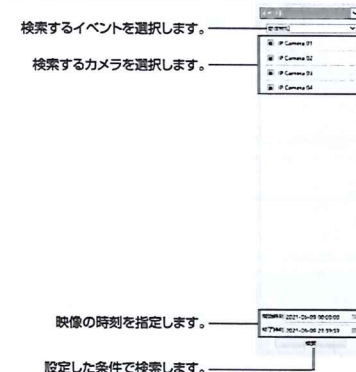
■タグ

タグのある映像を検索して再生します。



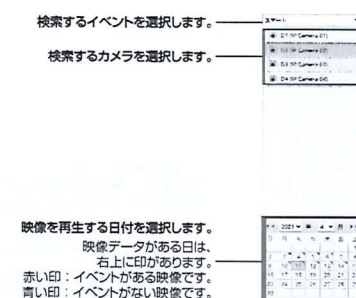
■イベント

イベントで映像を検索します。



■スマート

スマート検知した録画映像を日付から検索して再生します。



録画データの PC への保存

●本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、管理用パソコンにファイルとして保存することができます。

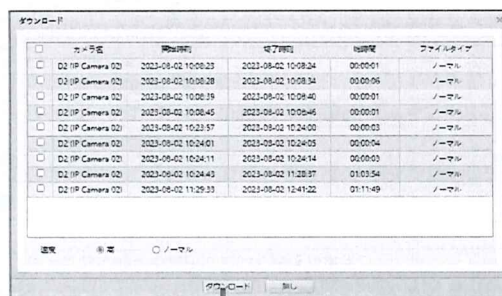
●映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できないときは、157 ページをご確認ください。

- 1 メインメニューから「再生」を選択します。
再生画面が表示されます。
- 2 (別売のカメラを登録しているとき) 再生したいカメラを選択します。
- 3 日付を選択します。
- 4 「クリッピング開始」をクリックします。
- 5 開始時間をタイムバーで操作します。
- 6 「クリッピング終了」をクリックします。
- 7 終了時間をタイムバーで操作します。
- 8 「保存」をクリックします。



- 9 ダウンロード画面が表示されますので、必要なファイルにチェックを入れて「ダウンロード」をクリックします。

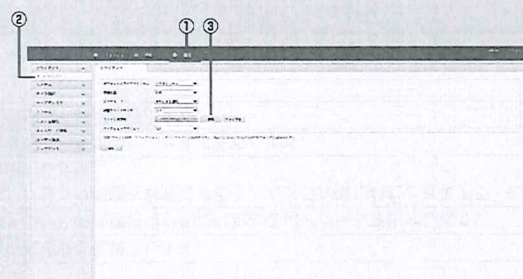


ダウンロードをクリックする

- ダウンロードが完了すると、「ダウンロード成功」と表示されます。
- ダウンロードしたファイルは以下の場所に保存されます。
C:\Users\ユーザー名\WebPlugin_NVR\Download ¥ [ネットワークレコーダーのIPアドレス] ¥

ダウンロード先フォルダを変更する場合は

- ①メインメニューから「設定」を選択します。
- ②サブメニューから「クライアント」を選択します。
- ③「ファイル保存先」の「参照」をクリックしてフォルダを選択します。



はじめに

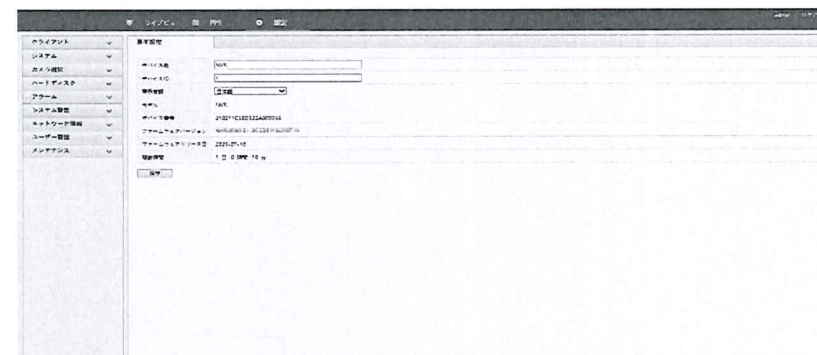
準備

設定

その他

設定画面

Web ブラウザー上で本製品の設定を行います。設定内容はモニター管理画面とほぼ同じです。
※実際の画面と本書の記載内容が異なる場合がありますが、ご了承ください。



●クライアント

メニュー項目	内容	ページ
クライアント	管理用 PC に保存する画像の設定を行います。	145 ページ

●システム

メニュー項目		内容	ページ
基本設定		本製品の基本情報を設定します。	—
画面表示		モニター管理画面の表示に関する設定を行います。「シーケンス間隔」の設定が可能です。この機能は Web 管理画面でのライブビュー切り替えではなく、モニター管理画面の切り替え機能です。	80 ページ
時刻	時刻	本システムの時刻を設定します。	82 ページ
	カメラの時刻同期	カメラの時刻をネットワークレコーダーと同期させます。	83 ページ
サマータイム		サマータイムを設定します。	83 ページ
休日		休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。	84 ページ
セキュリティ	IP アドレスフィルタリング	指定した IP アドレスから本製品へのアクセスを許可または禁止することができます。	87 ページ
	HTTPS	HTTPS の設定を行います。	146 ページ
	ONVIF 認証	ONVIF 認証の設定を行います。	88 ページ
	Telnet	Telnet 接続のオン・オフ設定を行います。	146 ページ
	ARP 応答保護	ARP 保護の設定を行います。	89 ページ
	ウォーターマーク	不正な変更を防ぐためにビデオのカスタム情報を暗号化します。	89 ページ

はじめに

準備

設定

その他

●カメラ選択

メニュー項目	内容	ページ
カメラ 選択	カメラ選択	新しくカメラを追加したり、接続しているカメラの設定をすることができます。
	アドバンスド	接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。
エンコード		映像・音声のエンコード設定を行います。
画面表示	基本	映像上に表示される文字の設定を行います。
	画面表示内容	映像上に任意の文字列を表示します。
画像		画像設定を行います。
スケジュール	録画スケジュール	録画スケジュールを設定することができます。
動体検知		動体検知機能を設定します。
ビデオロス検出		カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。
タンバリング		タンバリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。
プライバシーマスク		映像の一部を覆いたいときに設定します。
人体検知		人体検知の設定を行います。

●ハードディスク

メニュー項目	内容	ページ
ハードディスク	内蔵ハードディスクの設定をすることができます。	98 ページ
容量設定	カメラごとに映像と画像を保存する容量を設定します。	99 ページ
アドバンスド	ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。	101 ページ

●アラーム

メニュー項目	内容	ページ
アラーム入力	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
アラーム出力	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
手動アラーム	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
ブザー	ブザーを鳴らす時間を設定します。	—
ドアベルコール	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—

●システム警告

メニュー項目	内容	ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	113 ページ

●ネットワーク情報

メニュー項目	内容	ページ
TCP/IP	TCP/IP の設定をします。	71 ページ
Wi-Fi AP	ネットワークレコーダーの無線 LAN の設定をすることができます。	77 ページ
PPPoE	PPPoE の設定をします。	74 ページ
P2P	P2P の設定をします。	72 ページ
DDNS	DDNS の設定をします。	72 ページ
ポート	ポートの設定をします。	75 ページ

メニュー項目	内容	ページ
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。	75 ページ
Eメール	アラーム発生時に送信する Eメールの設定をします。	73 ページ
マルチキャスト	本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。	76 ページ

●ユーザー管理

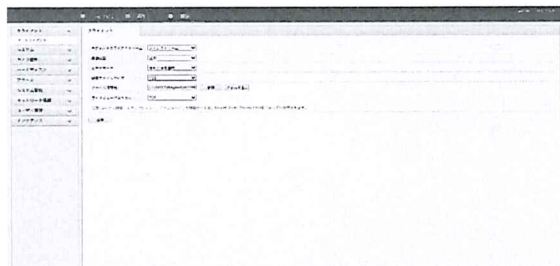
メニュー項目	内容	ページ
ユーザー管理	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	85 ページ

●メンテナンス

メニュー項目	内容	ページ
ログ	ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。	121 ページ
HDD	S.M.A.R.T テスト	ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。
	不良セクタ検出	ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。
ユーザー管理		現在管理画面ログインしているユーザーを表示します。
ネットワーク情報		ネットワーク情報を表示します。
カメラ選択		カメラ選択で設定したカメラの状態を表示します。
録画ステータス		レコーダーの録画状態の表示をします。
パケットキャプチャ		パケットキャプチャの設定を行います。
メンテナ ンス	メンテナ ンス	システムの再起動やアップグレードを行います。
	履歴診断 情報	診断情報を保存することができます。
メンテナンスログの 一括出力		NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。

クライアント

Web 設定画面にアクセスする PC との通信、映像を保存するフォルダなどの設定を行います。



項目	内容	
デフォルトのライブストリーム	デフォルトで表示するストリームを選択します。 [メインストリーム/サブストリーム (初期値)]	
画像比率	フル (初期値)	映像を画面に合わせて伸縮し、全画面表示します。
	比例	オリジナルの画面比率を保持します。
ビデオモード	リアルタイム優先	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。
	きれいさを優先 (初期値)	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。
録画ファイルサイズ	録画する映像の最大ファイルサイズを設定します。 [256MB / 512MB / 1GB (初期値)]	
ファイル保存先	映像データを Web 設定画面上から保存するときの保存先フォルダです。	
ライブビュープロトコル	TCP (初期値)	通常選択します。
	マルチキャスト	本製品でマルチキャストを有効にした場合のみ選択します。

はじめに

準備

設定

その他

システム—セキュリティ—HTTPS

セキュリティを確保するために HTTPS を使用することができます。



項目	内容
HTTPS	HTTPS を使用する場合はオンを選択します。[ON / OFF (初期値)]
証明書の種類	証明書の種類が表示されます。
証明書作成	証明書を作成します。

はじめに

準備

設定

その他

システム—セキュリティ—Telnet



項目	内容
Telnet	Telnet を使用するときは、[ON] にチェックを入れます。[ON / OFF (初期値)]

はじめに

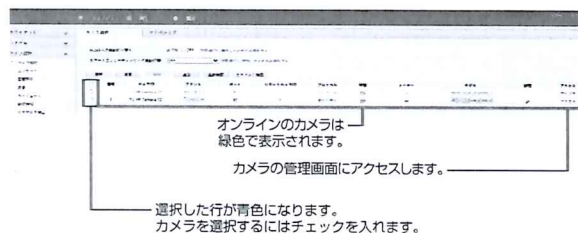
準備

設定

その他

カメラ選択—カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。また、各カメラの Web 管理画面にアクセスすることもできます。



重要 ネットワークレコーダーと同じローカルネットワークのパソコンからのみ「アクセス」を利用可能です。また、「アクセス」をクリックすると、カメラの Web 管理画面を表示することができますが、本機能はネットワークレコーダーでは管理できない一部機能 (microSD カードの管理など) のために設けています。カメラの WebUI でさまざまな設定が変更できますが、カメラの WebUI 側で変更した設定はネットワークレコーダーには反映されません。ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

項目	内容
H265 への自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。[ON / OFF (初期値)]
スマートエンコーディングへの自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的に拡張エンコード設定を選択した設定値に設定します。[ON / OFF (初期値)]
更新	表示を最新の情報に更新します
変更	選択しているカメラの設定を変更します。 ⇒ 148 ページの「別売カメラの追加」
削除	選択したカメラを削除します。
追加	選択したカメラをネットワークレコーダーに登録できます。
自動検索	ネットワーク上にあるカメラを自動的に検索します。
セグメント検索	ネットワーク上にあるカメラのセグメントを指定して検索します。

はじめに

準備

設定

その他

■カメラの設定画面

別売のカメラを追加するときは、50 ページをご確認ください。

項目	内容	
モードを追加	IP アドレス (初期値)	IP アドレスを指定して接続します。
	MyDDNS	外部クラウドサービスでの DDNS を利用して接続します。
	ドメイン名	DDNS サービスを利用して接続します。ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。	
	オリジナル (初期値)	通常は [オリジナル] のままで使用します。
	ONVIF	ONVIF で接続します。
	カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定することができます。
IP アドレス	検索ボタンをクリックして表示した内容から変更しないでください。	
ポート		
ユーザー名		
パスワード	カメラに登録しているユーザー名とパスワードを入力します。	
カメラ総数	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。 通常は初期値「1」のままでご利用ください。	

はじめに

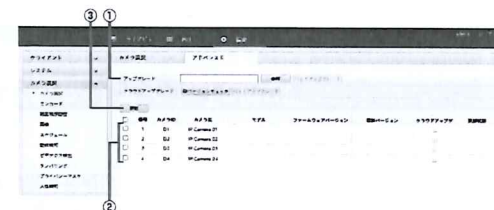
準備

設定

その他

カメラ選択—アドバンスド

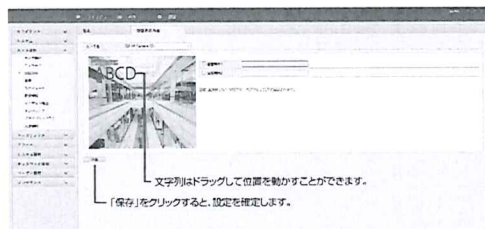
本製品に接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。



- ① DX アンテナ Web サイトからダウンロードしたファームウェアファイルを選択します。
- ② アップデートするカメラを選択します。
- ③ [更新] ボタンを押してアップデートを開始します。

カメラ選択—画面表示設定—画面表示内容

映像上に任意の文字列を表示します。



項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
画面表示	チェックを入れて、テキスト欄に画面上に表示したい文字を入力します。

はじめに

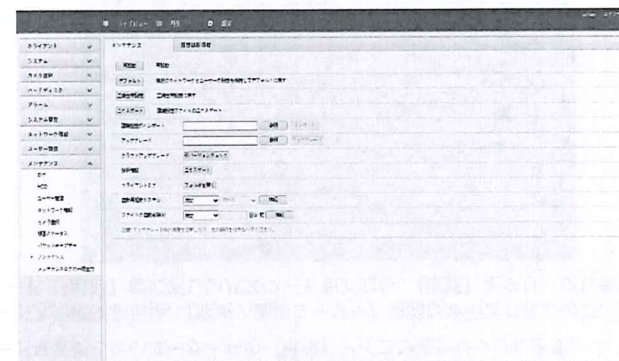
準備

設定

その他

メンテナンス—メンテナンス—メンテナンス

システムの再起動やアップグレードを行います。



項目	内容
再起動	クリックすると、システムを再起動します。
デフォルト	ネットワークとユーザーの設定以外を工場出荷時の状態に戻します。
工場出荷設定	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
エクスポート	環境設定ファイルを書き出してダウンロードします。
環境設定のインポート	書き出した環境設定ファイルを読み込んで復元します。
アップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。
クラウドアップグレード	クラウドに接続している場合、新しいバージョンを確認できます。
診断情報	診断情報を保存することができます。
クライアントログ	クライアントログが保存されているフォルダを開きます。
自動再起動システム	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	保存する日数を指定して自動的にファイルを削除する設定ができます。

環境設定のインポートを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更している場合は、読み込み後に再設定してください。

はじめに

準備

設定

その他

その他

こんなときは

はじめに

準備

設定

その他

共通

ログインパスワードを変更する

管理画面にログインするパスワードを変更します。パスワードとユーザー名は、モニター管理画面と Web 管理画面で共通のものを使用します。

- 重要**
- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
 - 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
 - パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。

パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

■モニター管理画面から変更する場合

- 1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックするか、ライブビュー画面で右クリックしてメニューをクリックします。
- 2 認証画面が表示されますので、パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。管理画面が表示されます。

 パターンを設定している場合は、パターンの入力画面が表示されます

- 3 【システム】 — 【ユーザー管理】 をクリックします。ユーザー設定画面が表示されます。



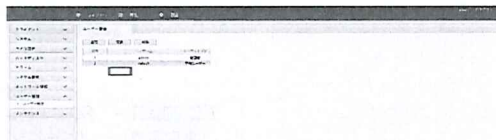
- 4 パスワードを変更したいユーザー名の【編集】アイコンをクリックします。
- 5 パスワード入力画面表示後、【変更 / 追加ユーザー】画面が表示されますので、【パスワード】と【パスワード（確認）】欄に新しいパスワードを入力し、【確認】をクリックします。



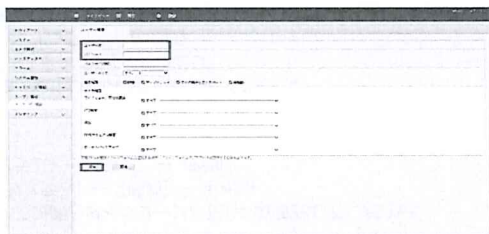
- 9～20文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &

■ Web 管理画面の場合

- 1 Web 管理画面から【設定】—【ユーザー管理】をクリックします。
- 2 管理者としてログインしている場合は、【ユーザー管理】画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、【変更】をクリックします。



- 3 【パスワード】と【パスワード（確認）】欄に新しいパスワードを入力し、【保存】をクリックします。「変更」画面は、ユーザータイプによって設定できる項目が異なります。



- 9～20文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &

🔑 5 回ログインに失敗するとロックされます。その場合は、解除されるまで約 5 分お待ちください。

はじめに

準備

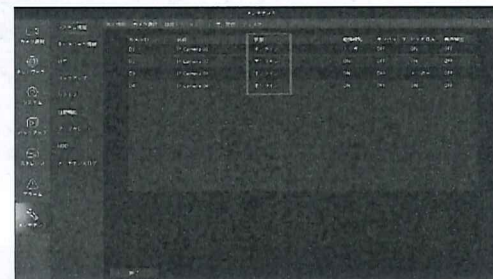
設定

その他

カメラを本製品に接続しても認識されない

🔑 設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

- 1 モニター管理画面の【メンテナンス】—【システム情報】—【カメラ選択】を表示します。
Web 管理画面の場合は、【メンテナンス】—【カメラ選択】を表示してください。



- 2 【状態】列にある原因を確認します。
- 3 モニター管理画面を表示します。
モニター管理画面の「カメラ選択」-「カメラ選択」-「更新」をクリックします。
- 4 ホーム画面の表示内容を確認します。

ネットワーク未接続の場合

ネットワーク接続とネットワーク設定を確認してください。

モニター管理画面：【ネットワーク情報】

Web 管理画面：【ネットワーク情報】

➡ 71 ページ「ネットワーク情報」

🔑 設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

Disconnected と表示されている場合

カメラのユーザー名とパスワード設定を確認してください。

初期パスワード：123456

モニター管理画面：【カメラ選択】—【カメラ選択】—【カメラ選択】

Web 管理画面：【カメラ選択】—【カメラ選択】—【カメラ選択】

➡ 50 ページ「カメラ選択」

Weak signal と表示されている場合

- ・ 信号が弱いです。カメラとネットワークレコーダーの距離を近づけたりアンテナの角度を変えてみてください。また、近くにほかの無線機器がないかをご確認ください。
- ・ 帯域不足です。本製品が処理可能な帯域幅に収まるように、各カメラのビットレートを下げる調整を実施してください。

はじめに

準備

設定

その他

ライブビューに映像が表示されない

🔧 設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

- 映像の解像度を下げてください。
モニター管理画面：[カメラ選択] — [エンコード]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [エンコード]
⇒ 59 ページ「エンコード」
- ライブビュー画面でカメラの切り替えができない
⇒ ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ（1 画面表示）の時に「前」「次」ボタンがクリックできない場合、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで再度 1 画面表示へ切り替えてください。

ライブビューは表示されているが録画が見つからない

- 録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。
モニター管理画面：[ストレージ] — [録画ステータス]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [スケジュール] — [録画スケジュール]
⇒ 96 ページ「録画ステータス」
- 本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。
モニター管理画面：[システム] — [時刻] — [時刻]
Web 管理画面：[システム] — [時刻] — [時刻]
⇒ 82 ページ「時刻」
- ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。
モニター管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
Web 管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
⇒ 126 ページ「HDD」
- 録画データが上書きされていないか確認する。
HDD の残り容量がなくなったときに録画データを上書きする設定になっていると、もっとも古いデータから上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。
モニター管理画面：[ストレージ] — [詳細設定]
Web 管理画面：[ハードディスク] — [詳細設定]
⇒ 101 ページ「詳細設定」

動体検知がうまく働かない

- 動体検知の設定を確認してください。
モニター管理画面：[アラーム] — [動体検知]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [動体検知]
⇒ 102 ページ「動体検知」

はじめに

準備

設定

その他

ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）



多くの場合、横縞が上または、下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては 100% 抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーのしやすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。設置場所や照明の種類を変えられない場合は、次ページの方法をお試しください。

- [露出モード] と [WDR レベル] の設定を変更する軽減することがあります。
モニター管理画面：[カメラ選択] — [画像] — [露出]
（Web 設定画面からも、設定できます）

設定したいカメラを選択します。 屋内50Hzまたは屋内60Hzに切り換えてみてください。



WDR (明暗補正) を ON にするとフリッカーがより目立ちます。必須でない場合は、OFF に設定してください。...

- [露出モード] を設定しても改善しない場合は、[補正] のスライダーを左右に動かしてください。



マウスが動かない

- 付属のマウスを使用してください。
- USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
- マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。

はじめに

キーボードから文字入力ができない

- USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

準備

カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

- 本製品にてカメラの設定を行った後で、カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合、本製品の設定画面にはその変更は反映されません。
カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合は、本製品を再起動させてください。
カメラの WebUI でさまざまな設定が変更できますが、カメラの WebUI 側で変更した設定は本製品には反映されません。
本製品とカメラを組み合わせで使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

設定

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

- 本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式 (H.264 または H.265) で出力されます。
下記アプリで H.265 形式の動画を再生する場合には、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。
・ Windows Media Player
・ Windows 10 映画&テレビアプリ

その他

< マイクロソフト社 : デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能 >
<https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/hevc-videoextension/9n4wgh0z6vhq>

USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

- USB デバイスのファイルフォルダは、日本語など 2 バイトコードを使用することができません。

モニターに画面が映らない

- ネットワークレコーダーの初期出力解像度は 1024 × 768/60Hz です。
接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、それまで接続していたモニターでネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください (80 ページ参照)。または、Web 管理画面からモニター出力解像度を変更してください (142 ページ参照)。
- Web 管理画面からモニター出力解像度を変更する
 - ① ネットワーク端子に LAN ケーブルで PC を接続します (7 ページ参照)。
 - ② PC のウェブブラウザでネットワークレコーダーの Web 管理画面にログインします (133 ページ参照)。
 - ③ [設定] - [システム] - [画面表示] の「解像度」を、ネットワークレコーダーに接続しているモニターが対応している解像度に変更します (80 ページ参照)。
Web 管理画面から画面表示解像度を変更すると、設定変更後にネットワークレコーダーが再起動しますので、ご注意ください。

はじめに

準備

画面がはみ出して切れた状態が表示される

- TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能 (従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能) によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。 (設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください)
また、レコーダー側の出力 (画面表示解像度) は、お使いのテレビの画素数 (水平 × 垂直) に近い解像度を選択してください。 (80 ページ「画面表示」参照)

設定

その他

Web 管理画面

ライブビューが表示されない

ライブビュー画面下の映像情報でビットレートが [0Mbps] になっていないか確認してください。



Wi-Fi でカメラを登録している場合は、Wi-Fi AP にカメラが登録されていることを確認してください。
[ネットワーク情報] — [Wi-Fi AP] に登録したカメラ名が表示されていることを確認してください。

0Mbps になっている場合

ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策プログラムを停止してください。

0Mbps ではない場合

パソコンのグラフィックカードドライバが正しく機能しているか確認し、必要な場合はドライバを再インストールしてください。

ライブビュー画面でカメラの切り替えができない

ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ表示（1 画面表示）のときに、「前」「次」ボタンがクリックできない場合は、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで、再度シングルウィンドウ表示（1 画面表示）に切り替えてください。

はじめに

準備

設定

その他

はじめに

準備

設定

その他

その他

付録編

使用上のご注意

〈対応ネットワークカメラ〉

本製品は、CNW3C シリーズのワイヤレス対応ネットワークカメラに対応しています。

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源など常時 100V が確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器など重ね置きなどせず十分なスペースに設置してください。(熱による不具合などの防止の為)
- HDD 交換によるデータ消失、不具合など保障はできません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くに強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があります。故障、事故につながる場合があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 潮風や温泉成分による不具合保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えると、破損や故障の原因になります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器(無線 LAN、Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機器など)の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなることがあります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合があります。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第 3 者に渡る場合には、その取り扱いに十分にご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

はじめに

準備

設定

その他

設置上のご注意

〈設置場所について〉

- 本製品のレコーダーは、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線や X 線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所(本機は車載用ではありません)／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的(一般業務用など)のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、セキュリティ上問題がありますので、情報の流出・紛失は補償致しかねます。

〈雷に対する保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界(モーターやトランス、電力線など)の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、本書の 82 ページ「時刻」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

はじめに

準備

設定

その他

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。

はじめに

準備

設定

その他

動作環境

Web ベースの管理画面、次の環境のみサポートしています。

対応 OS	Windows 10
対応ブラウザ	Microsoft Edge、Google chrome

はじめに

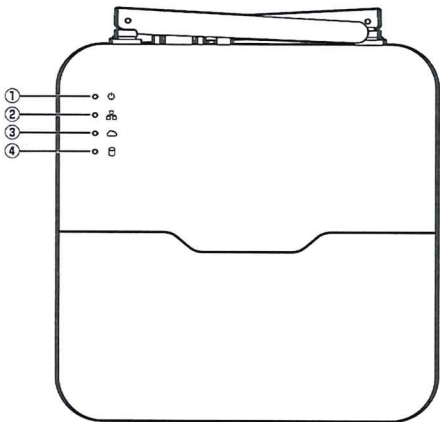
準備

設定

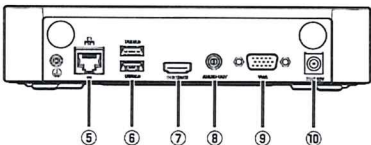
その他

各部の名称とはたらき

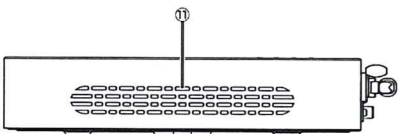
本体上面



本体背面



本体側面



①電源ランプ	点灯：正常動作中 点滅：起動中
② NET ランプ	点灯：ネットワークに接続中
③クラウドランプ	点灯：クラウドに接続中
④ HDD ランプ	点灯：ハードディスクに異常がある 点滅：データを読み込み／書き込み中
⑤ネットワーク端子	LAN ケーブルを接続します。
⑥ USB 端子	操作用のマウスおよび各種データ用の USB メモリーを接続します。
⑦ HDMI 出力端子	モニターと HDMI 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑧オーディオ出力	音声出力端子です。
⑨ VGA 出力端子	モニターと VGA 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑩ DC 端子	電源アダプターを接続します。
⑪排気口	内部冷却用の排気口です 使用中はふさがらないでください。

はじめに

準備

設定

その他

パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の管理画面にアクセスできない場合に、本製品の管理画面に接続するパソコンの IP アドレスがどのようなになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線 LAN 子機の IP アドレスを確認するときにも使用できます。

※本製品には DHCP サーバー機能はないため、パソコンには IP アドレスを割り当てません。

Windows10 の場合

- 1 [スタート] → [Windows Powershell] をクリックします。
- 2 「Windows Powershell」画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。

入力する文字は半角英数字です。
●「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。
有線 LAN 接続は「イーサネットアダプターローカルエリア接続」、無線 LAN 接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレスネットワーク接続」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

はじめに

準備

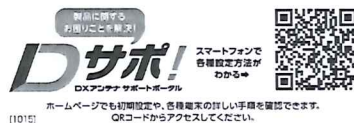
設定

その他

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能な
あれば、まずご確認ください。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
This product is designed for use in japan only. No technical support is available in foreign
languages other than Japanese.



[101号]

はじめに

準備

設定

その他